

春夏 spring - summer
2017

vol.
20

春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53
横浜市教育会館 3F

TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文芸評論 5 / 文学 6 / 写真・音楽・芸術 6 / 詩歌・俳句 7 / 観光・環境・自然・健康 8 / 横浜市立大学新叢書 8 / 立教大学人文叢書 8
東洋英和女学院大学社会科学叢書 8 / 総記・辞典・事典 8 / 言語 9 / 心理 9 / 教育 9 / 政治・経済 10 / 社会・歴史 10 / 人類学 12 / シリーズ来たるべき人類学 12
【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しがらみ 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10
【コラム】 自著を語る 5 / 横浜 9 / 本屋に行こう 11



至静は天淵てんえんの如し、
是れ動かざるに非ず、
流動して静なり、
私なければなり

ことば：『新井奥遼著作集』第6巻23頁より

写真：初沢克利

『浅草 2011-2016——六区ブロードウェイ 日本人の肖像』

(春風社、2017年)より

対談

学術書の未来

学術書の出版はどこへ向かうのか

二〇一七年二月二六日、横浜市教育会館にて、京都大学学術出版会専務理事・編集長の鈴木哲也氏と春風社代表の三浦衛が、それぞれ自社の三冊をとりあげ、「学術書の未来」をテーマに対談を行いました。司会は図書新聞取締役社長の馬渡元喜氏です。



鈴木哲也氏 (京都大学学術出版会)



三浦衛 (春風社)



馬渡元喜氏 (図書新聞)

学術書とは何か

馬渡 本日の対談のきっかけとなったのは、『学術書を書く』(鈴木哲也・高瀬桃子著、京都大学学術出版会、二〇一五)の図書新聞での書評を三浦さんをお願いしたことです。一読して、この本の評者は三浦さんしかいない、と思いました。

ではまず、「学術書とは何か」という大きな問いからお二人にうかがいたいと思います。

鈴木 私には横浜出身で、横浜でこういってお話ができるのは奇遇だと喜んでます。

さて、私どものような大学出版会はどうしても母体大学に規定されます。京大はさまざまな学部と領域を抱え、専任教員だけで二千五百人ほど。どうすれば学問分野に偏りなく、かつ出版会としての特徴を持たせることができるのかを考えています。

主な領域は四つです。一つ目は「地域研究」で、年間刊行点数約七〇冊のうち約四分の一にあたります。二つ目は「歴史的なアプローチ」。京大が日本で初めて講座を設けた西洋古典学を柱に『西洋古典叢

影響を与えるものです。きちんとした学問的手続きをベースにしなが、骨太の主張を持ち、社会に対して研究成果を出すのが学術書ではないかと思えます。

そもそも知は何のためにあるのでしょうか。春風社さんのお仕事はすべて、知とは実践するものだという視点に貫かれている気がします。もう一つはマイノリティにこそ何かがあるだろうという姿勢が感じられます。マイノリティに目を向けることを通じて大きな問いを出されていると思います。

この「大きな問い」が、学術書に一番大事なことです。学術的なシステムに則りつつ、大きな問いのあるもの。これが、私が学術書として考えているものです。

馬渡 ありがとうございます。三浦さんはいかがですか。

三浦 学問という『旧約聖書』の楽園開放の話が重なります。善悪の知識の実を食べて楽園を開放された人間が幸福を得るための道具が、学問だと僕は思っています。学問という形で幸福を追い求めていくときに、研究の積み重ね、先人の遺産を継ぐことが大事で、ここに学術書の役割があります。

春風社の特徴について一つ思うのは、「在野精神」です。野にある、野にあること。大学の中で研究したことがその外で意味がある言説になつていくかどうか、学術書にとって大切なことです。僕は秋田の農家出身で家には一冊も本がありませんでした。でも学術書を作るとき

学術書は、狭義の専門だけではなく、むしろ専門外の人たちに役立ち

にその生育環境が活かしていると、今になって思います。

『学術書を書く』は、これから学術書を出す人にとっての決定版ですね。特に、「二回り、三回り外」の読者、という言葉には本を作るとき

の共通の苦労が表れていると思います。

「二回り、三回り外」へ

馬渡 学術書について、「実践的である」、あるいは「生きるすべ、幸福を追求する」とお二方も考えていらつしやるのは非常に重要なポイントです。すでに出てきた「二回り、三回り外」は、『学術書を書く』に何

度も登場するキーワードです。鈴木さんはこの言葉をどのようなお気持ちで使われましたか。

鈴木 意識的に使っています。世の中が高学歴化し、いまや大学出版業の新人は大学院卒が普通ですが、彼らは分からないと言わない。あるいは分からないことはいけないことだと思つてしまふ。困ったことです。そういう編集者たちは著者に「分かりやすく書いてください」と言いますが、一体誰にとつて、何のために、何を分かりやすく書くのか。そこで、「二回り、三回り外」という言葉です。

研究者の世界では、同じ対象を同じアプローチで研究している一五人を「一回り」とすると、その外の人たちには、たとえ同業者であっても実は言葉が通じない。この自覚に立

ち、まずはその人たちに丁寧に伝えようとするのが大事です。そう心がけてみると、思わぬ人から反応があります。例えば、この『集団』『制度』『他者』という同じ研究会のシリーズ。去年、東北大学の若い助教の方から『帝国の基層』(有松唯著、東北大学出版会、二〇一六)という考古学の本をいただきました。手紙には「私がこの本を書きつづけたのは、『集団』と『制度』を読んだことだ」とありました。同じ学問領域で言葉が通じているのかを問うてみる。通じていないかもしれないと思つて丁寧に書くと、思わぬところから、このような読者の反応があるのです。

ないか。言葉に潜む二面性に危機感を持ちながら、誰に向かつて伝えていくのか。そのように問いつつ、工夫や苦労を重ねること、それがまだ見えない「二回り、三回り外」の読者に届けられるのだと思います。

鈴木 現場の哲学をつくるのが知だと私は思います。例えば福島原発について私たち一人ひとりは何を選ぶかと考えるとき、そのための知識がほとんどない。学者もそれを出そうとしてこなかった。今、現場で判断をするための材料やその精神価値が失われているのではないか。そのことに危機感を抱いています。

「現場」とはどこでしょう。日本で五〇年くらい前と比べて本を読まなくなつた層は、学校の先生とお医者さんではないか。かつて地域にいて知を媒介していた人たちが、いわば現場の知を担っていた人々が、今いなくなつていっているのではないか。そういう中で現場の哲学をつくるには、まず歴史を学ばなければならぬ。それぞれの歴史の中で何が明らかになつてきたかをきちんと知つてもらうことです。

「誰に向けて」に関係して、よく僕が人に話すことがあります。かつてある公害に関する公開説明会で、自然科学の研究者がいろいろとデータを挙げ、毒と人体への影響について説明しました。そのとき、説明の最後におばあさんが手を挙げて、「ところでウチの孫は大丈夫でしょうか?」と訊いた。——学問、もつと言え言葉が、本当のことを伝えるよりも隠すためのものになつてい

ないか。言葉に潜む二面性に危機感を持ちながら、誰に向かつて伝えていくのか。そのように問いつつ、工夫や苦労を重ねること、それがまだ見えない「二回り、三回り外」の読者に届けられるのだと思います。

三浦 実際の本づくりの話ですね。鈴木さんが取り上げられた三冊はすべて上製本で、しかもかがり綴じ。京都大学学術出版会さんの本は全部かがり綴じなんですか。

鈴木 基本的にそうですね。三浦 長く読んでほしいという願いが造りにも表れていると感じますね。かがり綴じとは、要するに製本時に糸でかがることです。糊付けで綴じられた本は何年か経つと開くと割れることがあります。糸でかがつているとバラバラにならない。

鈴木 他の工夫についていうと、例えばこの『集団』では、それぞれの章扉に、著者の主張を一枚で示す絵を載せました。この本では文化人類学、生態心理学、霊長類学という三分野の方々が対話し、なぜ人は集まるのかという問いを議論するので、が、やはり個別の議論は専門的で、読者にとつて遠い。一枚の絵にすることで、著者自身が気づかなかつた論点も出てくるし、読者の道標になる。この研究会のシリーズは全部この形にしました。

また、『集団』には途中にカラーページを入れました。著者のお一人である伊藤詞子さんのチンパンジーについての論文が、「メスで集団は形成される」「集団を議論するときメスから議論すべきだ」という重大な提起をしているからです。この論文を特別扱いし、カラーにしました。そうすると糊ではうまく製本できず、かがる必要がある。コストをかけてでもかがるのは、多彩な本づくりのためでもあります。

本づくりの工夫

鈴木 本は必ずしも最初の目次から読んでいくものではありません。学術書であっても、写真やコラム、囲みなどが、全体として導入となる。そういう意味で、本づくりは平板であつてはなりません。この工夫について、三浦さん、いかがでしょうか。

三浦 実際の本づくりの話ですね。鈴木さんが取り上げられた三冊はすべて上製本で、しかもかがり綴じ。京都大学学術出版会さんの本は全部かがり綴じなんですか。

馬渡 それぞれの三冊を見て、タイトルや装丁に両社の特徴を感じました。

を得ない資料や、新刊として書店で平積みにしたときの状態に規定されるところもありますね。

三浦 タイトルは手に取る人に問いを投げかけるようなものにした。ただ今回の三冊は関心がある人たちにまず読んでほしいと思い、ひねったタイトルはありませぬ。『現代の学校を読み解く』はむしろ装丁が変わっています。白と黒の二色のみでタイトルの文字も小さく、間隔が空いている。内容面でもコラムやキーワード説明を設けて工夫しています。

『「他者」たちの農業史』は、普通定住した農民を中心にする農業史ですが、実は別の視点から見た方が豊かなものが見えるのではないかと、という本です。ただし、「よそ者」たちは文書に残らない。そこで本としては、「他者たち」つまりよそ者で語るには一つの方法では貫けないことをむしろ売りにしました。カバーの写真は朝鮮背板という背負子で、戦前から日本で地主になっていた朝鮮の人たちが使っていた道具です。日本の農業の相当な部分を日本列島の外から来た人が担っていたことを示しています。このように、装丁には著者のメッセージを象徴するものを持ってきています。

馬渡 この本は春風社ならではのですね。

三浦 三浦さんは、鈴木さんが挙げられた三冊をどうお読みになりましたか。

鈴木 本はタイトルも記述全体も、「なんだ、これ？」と思わせることが大事だと思えます。タイトルは、その本の内容を、より大きな問いの中で言うとうなるか考えます。予定調和を超えたものにした。思っているのですが、いつも上手く行くとは限りませぬ。

馬渡 三浦さんは、鈴木さんが挙げられた三冊をどうお読みになりましたか。

三浦 難しいけれどおもしろかったです。この「難しいけれども、おもしろい」が僕の学術書の一つの定義です。丁寧に読んでいくと必ず納得や驚きがある。また、そこまで編集していくのが編集者の仕事だと思います。そのために文章を精読し、一文一文に密着しながらその書き方をチェックします。句読点の位置一つでも文章の分りやすさが変わります。「内容を分りやすく」ではなく「一文一文を分りやすく」。そうするうちに少しずつ著者が書いていることが沁みてくる。

馬渡 鈴木さんは、三浦さんが挙げられた三冊にどのような感想をお持ちになりましたか。

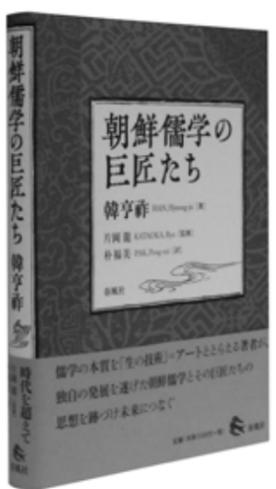
鈴木 まず、『朝鮮儒学の巨匠たち』。朝鮮の一つの精神風土とされるいわゆる大義名分論の底には「生きる」という問題があった。この本における儒学は、一言でいえば「生きるための技法」です。

『異文化コミュニケーション事典』。普通「異文化コミュニケーション」というと外国人を想定しますが、この本では夫婦なども含めて、自分と違うものが世の中いっぱいあり、それとどうつき合うのかという事です。造本も凝っていて、カバーをとって表紙をみると凸凹があり、シンボルが型押しで表現されています。『西洋古典叢書』も以前は全部型押ししていたのですが……。

馬渡 三浦さんは、鈴木さんが挙げられた三冊をどうお読みになりましたか。

三浦 『集団』は、帯に「群れから国家まで、人はなぜ集まるのか」とある。最後に未来に向けた話に移ります。『学術書を書く』でも鈴木さん

馬渡 『集団』は、帯に「群れから国家まで、人はなぜ集まるのか」とある。最後に未来に向けた話に移ります。『学術書を書く』でも鈴木さん



『現代の学校を読み解く—学校の現在地と教育の未来』末松裕基編著、春風社、2016年

『朝鮮儒学の巨匠たち』韓亨祚著・片岡龍監修・朴福美翻訳、春風社、2016年

『異文化コミュニケーション事典』石井敏・久米昭元編集代表、春風社、2013年



『集団—人類社会の進化』河合香史編、京都大学学術出版会、2009年

『他者』たちの農業史—在日朝鮮人・疎開者・開拓農民・海外移民』安岡健一著、京都大学学術出版会、2014年

『ギリシア詞華集1』杵掛良彦訳、京都大学学術出版会、2015年

今日のお話で、学術書がいかに垣根を超えて行こうとしているかという状況がよく分かりました。鈴木さんのお言葉にあった、「知を血肉化する」ことが学術書であり、そういう学術書を両社につくり続けていたのだと思います。ありがたいございました。

哲学・思想・宗教

哲学はじめの一步 楽しむ／働く

何をすれば楽しめるのだろうか？ どうして働かないといけないのだろうか？ ファッション、芸術、お金を切り口に、二つのテーマを考える。高校生・大学新入生のための哲学入門。



法華経諺解 上

げんか、上
「ハングル訳注・法華経要解」
河瀬幸夫 (研究者)
金星周 (東国大学教授 訳)
一四六三年、朝鮮王朝の時代に刊行された『妙法蓮華経』中の『法華経』と北宋の戒環著『法華経要解』の中世韓国語による翻訳文と夾注の日本語訳。中・近世の東アジア漢字文化圏における『法華経』理解の精髄。
A5判上製・三八四頁 定価(6500円+税)
ISBN 978-4-86110-549-4

哲学 はじめの一步

立正大学文学部哲学科編
わたしたち何のために生きてるんだろう？
「生きる」「私」であること、「心」「行動する」の四つのテーマから考える、高校生・大学新入生のための哲学入門。四冊函入。
ISBN 978-4-86110-459-6 一刷 ¥2241

朝鮮儒学の巨匠たち

韓亨祚 (韓国中央研究院教授 著) / 片岡龍 (東北大学准教授) 監・解説 / 朴福美 (韓国語教室主宰) 訳
儒学の本質を「生の技術」ととらえ、独自の発展を遂げた朝鮮儒学を、巨匠たちの思想を辿りながら跡づける。
ISBN 978-4-86110-500-5 ¥5500

姿を変えたキリスト—みなし子を育てたシスターたち

菊地章太 (東洋大学教授)
「福祉」の原点を「宗教」に見出す感動のドキュメンタリー。子どもたちを救うことに尽力してきたシスターたちの奮闘の足跡を、横浜、神戸、岡山、長崎、天草からたどる。
ISBN 978-4-86110-475-6 ¥2200

奥義論集成

春風社編集部編
明治・大正のキリスト教思想家、新井奥達。各界屈指の論客による『新井奥達著作集』月報取載の珠玉の論考を一書にまとめ、その人と思想を多角的に照らし出す。
ISBN 978-4-86110-424-4 ¥2700

おうすいポケット 新井奥達語録抄

三浦衛 (春風社代表)・コールドニエル (福岡女学院大学教授)編
田中正造が「聖型」と評し、高村光太郎が愛読した、いいのちの思想家・奥達。その珠玉の語録を全集より精選。
白表紙 ISBN 978-4-86110-454-1
黒表紙 ISBN 978-4-86110-455-8 各巻 ¥2200

思想家としての石橋湛山—人と時代

山口正 (石橋湛山記念財団評議員)
『石橋湛山全集』の出版に携わり、湛山の多面性と東洋経済新報社史に精通する第一人者が明らかにする実践的自由思想家の全貌。増田弘氏 (石橋湛山研究会会長) 推薦！
ISBN 978-4-86110-472-5 一刷 ¥3000

徂徠と真諦

末木恭彦 (駒澤大学教授)
ISBN 978-4-86110-494-7 ¥3500
随想 西田哲学から聖霊神学へ
小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-464-0 ¥3500

エコ・ファンタジー—環境への感度を拡張するために

山田利明 (東洋大学教授)・河本英夫 (東洋大学教授)編
ISBN 978-4-86110-468-8 ¥3500
越境する哲学—体系と方法を求めて
村上勝三 (元東洋大学教授)・東洋大学国際哲学研究センター編
ISBN 978-4-86110-478-7 ¥5500

オール・アバウト・ラブ—愛をめぐる13の試論

ベル・フックス著 / 宮本敬子、大塚由美子訳
ISBN 978-4-86110-492-3 ¥2300
絶対無と神—京都学派の哲学
小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-464-0 ¥4600

死生学—死の隠蔽から自己確信へ

岩崎大 (東洋大学研究助手)
ISBN 978-4-86110-438-1 ¥3982
虚構の形而上学—「あること」と「ないこと」のあいだで
中村靖子 (名古屋大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-436-7 ¥3500

サルトルとマルクス—II

北見秀司 (津田塾大学教授)
ISBN 978-4-86110-213-4 / ISBN 978-4-86110-214-1 各巻 ¥3333
積読詳節 (上・中・下)
朝鮮世祖 纂述 / 河瀬幸夫 訳
ISBN 978-4-86110-209-7 / 978-4-86110-363-6 / 978-4-86110-271-4 各巻 ¥46500

『方法叙説』をめぐる六つの試論—日本の思惟と西欧の思惟に介在する深淵

小林利夫 著
徳永雅 編
ISBN 978-4-86110-254-7 ★ ¥3619
【新版】待つしかない、か。—身体と哲学をめぐる
木田元 (哲学者)・竹内敏晴 (演出家)
ISBN 978-4-86110-420-6 ¥1800

哲学の挑戦

西日本哲学大芸編
ISBN 978-4-86110-335-3 ¥2800
沈黙の向こう側—豊崎光 追悼集
豊崎令子 監修 / 岩崎誠、佐久間和男、中村裕平、山規子 編
ISBN 978-4-86110-370-4 ¥3048

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション

稲垣論 (東洋大学教授)
ISBN 978-4-86110-303-2 一刷 ¥2381
超越する実存—人間の存在構造と言語宇宙
棚次正和 (京都府立医科大学教授)
ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて

谷口隆一郎 (聖学院大学教授)
ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333
マハーバータラトラーマヤナ
前川輝光 (亜細亜大学教授)
ISBN 978-4-86110-365-0 ★ ¥3000

新しい国家—海辺の別荘で教養と信仰と哲学を語り合う

W・H・マロック 著 / 澤井勇 訳
ISBN 978-4-86110-319-3 ¥2800
直接知の探求—西田・西谷・ハイテッカー・大拙
松丸壽雄 (獨協大学教授)
ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

茶の本

岡倉天心 著 / ソートン 不破直子 (日本女子大学名誉教授) 訳
ISBN 978-4-86110-191-5 ¥1300
聖書における愛—イエスの愛とパウロの愛
高見伊三男 (牧師 / 名古屋学院大学教授)
ISBN 978-4-86110-287-5 ★ ¥2200

思想のレイクイェム—加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡

浅見洋 (石川県立看護大学教授)
ISBN 4-86110-068-2 ★ ¥3500
風についての省察—絶対無の息づかいをもとめて
松山康國 (関西学院大学名誉教授)
ISBN 4-921146-85-3 ★ ¥3333

異教の完成者—史的イエスをめぐる謎

波多野直人 (武蔵大学教授)
ISBN 978-4-86110-351-3 ★ ¥3500
滝沢克己を語る。
三島淑臣 (九州大学名誉教授) 監修
ISBN 978-4-86110-206-6 ★ ¥3619

〈文化〉の思想—現代日本の位置から

西欣也 (甲南大学教授)
ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200
河合榮治郎の社会思想体系—マルクス主義とフアンズムを超えて
青木育志 (研究者)
ISBN 978-4-86110-272-1 ★ ¥3800

教養主義者—河合榮治郎

青木育志 (研究者)
ISBN 978-4-86110-320-9 ¥3000
ヤスハス—人間存在の哲学
吉村文男 (京都教育大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-260-8 ★ ¥4571

対話論神学の地平—私の巡礼のなから

延原時行 (元教和学園大学教授)
ISBN 4-86110-081-X ★ ¥4286
犠牲と身代わり—記憶できないものをめぐって
長田陽一 (京都光華女子大学教授)
ISBN 978-4-86110-275-2 ★ ¥2200

心理臨床と脱構築の経験—〈他者〉をめぐって

長田陽一 (京都光華女子大学教授)
ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400
小林秀雄とワイトゲインシユティン
中村昇 (中央大学教授)
ISBN 978-4-86110-106-9 ¥2500

仮説法の倫理学—ホー・ハース・ハイテッカー

村上隆夫 (群馬大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-309-4 ¥600
信仰の美學
阿部仲麻呂 (サニイオ会司会)
ISBN 4-86110-028-3 ★ ¥9500

日々の風

長谷川宏

15 奈良散策

三月末から四月初めにかけての恒例の奈良旅行に今年も出かけた。わたしは一週間の滞在と決めていて、都合のつく友人・知人が二三日の予定で適宜合流するという旅だ。ここ二、三年ほどわたしは二人の幼い孫を連れていくようになって、その面倒も見ながらの集団旅行である。
四〇年以上も続く仏寺・仏像めぐりの旅だから、初見の寺や像はほとんどなく、法隆寺や興福寺や薬師寺となると、もう数十回は訪れている。
ゆつたりとその場に身を置き、じつくりと仏像に直面することをねらいとする旅だが、幼児連れとなると見る集中力はどうしても減殺される。ただ、ありがたいことに、同行の友人たちが幼児とつき合ってくれる時間は少なくなく、そんなときわたしは不足分を取りもどそうとするかのように向き合う像に目を凝らす。今年の旅でとくに印象に残ったのは、九時開門と同時に入った浄瑠璃寺の、晴れわたってひんやりと冷たい朝の境内のたずまわりの巨像に気圧されて影の薄かった弁才
(哲学者)



文学都市ダブリン

ゆかりの文学者たち

木村正俊 (神奈川県立外語短期大学名誉教授)

なぜダブリンはすぐれた文学者たちを輩出してきたのか？ スウィフト、ワイルド、ジョイスから現在の作家まで、作品を生み出す土壌となった都市ダブリンとの関係に注目しながら、文学者たちの足跡をたどる。

A5判上製・四六〇頁 定価(3700円+税)
ISBN 978-4-86110-518-0



カポーティ小説の詩的特質

音と文彩

大園弘 (九州国際大学教授)

名作家カポーティの詩的特質とはいかにあるのか？ どのような効果を上げていくのか？ 短編、中編小説を対象に多数の事例を抽出。韻と律、直喩、隠喩、その他のレトリックと詩的效果を考察する。

四六判上製・二六四頁 定価(3200円+税)
ISBN 978-4-86110-521-0



バルザックの文学とジェンダー

女性作家との比較から

分かること

東辰之介 (駒澤大学准教授)

バルザックはフェミニスト？ 同時代の女性作家の作品と比較検討することで、男性作家だけを読んでいるのは捉え難い文学の豊かさの総体に迫る。

四六判上製・三五〇頁 定価(3600円+税)
ISBN 978-4-86110-533-3



スコットランド、一八〇三年

ワーズワス兄妹と

コールリッジの旅

安藤潔 (関東学院大学教授)

詩人ワーズワス、その妹ドロシー、コールリッジの三人旅行。彼らの見た風景、泊まった宿、出会った人々……ドロシーの「旅行記」やコールリッジのノートブックを資料に、現地へも赴き三人の足取りを詳細にたどる。

四六判並製・二六六頁 定価(2700円+税)
ISBN 978-4-86110-529-6

帝国と文化―シェイクスピアからアントニオ・ネグリまで 江藤秀一 (筑波大学名誉教授) 編
ISBN 978-4-86110-517-3 ¥3500

幻想と怪奇の英文学Ⅱ―増殖進化編 東雅夫・下楠昌哉 責任編集
ISBN 978-4-86110-516-6 ¥3200

幻想と怪奇の英文学 東雅夫 (アーンソングラッセ評論家)・下楠昌哉 (同志社大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-404-6 二刷 ¥2700

異文化理解とパフォーマンクス―Border Crossers 松田幸子 笹山敬輔 桃紅 編著
ISBN 978-4-86110-499-2 ¥4500

パブリック圏としてのイギリス演劇―シェイクスピアの時代の民衆とドラマ 中村友紀
ISBN 978-4-86110-501-2 ¥3000

ヘーター・フーヘル―現代詩への軌跡 土屋洋二 (元愛知大学教授)
ISBN 978-4-86110-481-7 ¥3200

フィリップ・ラーキン―愛と詩の生涯 高野正夫 (元駒澤大学教授)
ISBN 978-4-86110-477-0 ¥3200

T・S・エリオットの詩を解説する 滝沢博 (高岡法科大学教授)
ISBN 978-4-86110-476-3 ¥2200

「女の子」という運動―ワイマール共和国末期のモダンガール 田丸理砂 (フェリス学院大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-443-5 ¥3000

神奈川ゆかりの作家たち 最賀進 (SAGAハウス代表)
ISBN 978-4-86110-462-6 二刷 ¥1500

フロンテ小説における病いと看護 川崎明子 (駒澤大学准教授)
ISBN 978-4-86110-427-5 ¥3500

敗戦・憂国・東京オリンピック―三島由紀夫と戦後日本 洪潤杓 (誠信女子大学校助教授)
ISBN 978-4-86110-463-3 ¥3000

美しき汚れ―アサヒ・マンビートとウィクトリア朝期女性労働者の表象 吉本和弘 (県立広島大学教授)
ISBN 978-4-86110-442-8 ¥3000

中世英語文学Ⅱ―The Sound of Literature 菊池清明 (立教大学教授) ※本文英語
ISBN 978-4-86110-488-6 ¥7500

中世英語文学Ⅰ―その言語・文化の特質 菊池清明 (立教大学教授)
ISBN 978-4-86110-428-2 ¥4500

秘密のラティガン―戦後英国演劇のなかのトランス・メディア空間 大谷伴子 (東京学芸大学講師) ISBN 978-4-86110-448-0 二刷 ¥2700

マーガレット・オブ・ヨークの「世紀の結婚」―英国史劇とブルゴニコ公国 大谷伴子 (東京学芸大学講師) ISBN 978-4-86110-419-0 ¥2700

交錯する戦争の記憶―占領空間の文学 黄益九 (在日コリアン研究所)
ISBN 978-4-86110-422-0 ¥3300

名誉革命とイギリス文学―新しい言説空間の誕生 富樫剛 (フェリス学院大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-412-1 ¥3000

ジョージ・エリオットの異文化世界 高野秀夫 (駒澤大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-395-7 ¥3333

トルストイと生きる 藤沼貴 (早稲田大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762

戸籍の謎と丸谷才一 ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-381-0 ¥1800

ミルワード氏の英文学散歩―ルネッサンスから現代へ ビーター・ミルワード 編著/橋本修一 訳 ISBN 978-4-86110-167-0 ★ ¥1800

乱歩彷徨―なぜ読み継がれるのか 紀田順一郎 (評論家・作家)
ISBN 978-4-86110-284-4 二刷 ¥1905

作品は「作者」を語る―アラビアン・ナイトから丸谷才一まで ソーントン不破直子・内山加奈枝 編著 ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857

朝鮮神話の源流―「ハリ公主神話」と「タンクン神話」を巡って 金香淑 (白田大学准教授)
ISBN 978-4-86110-313-1 ¥4500

原典対照「ペーオルフ」読解 長谷川寛 (元日本大学教授)
ISBN 978-4-86110-230-1 ¥9000

イギリス イメージ断片―表象と文学 要田圭治・田原光広・吉本和弘 編
ISBN 978-4-86110-278-3 ★ ¥3333

明治大正露文化受容史―二葉亭四迷・相馬黒光を中心に 小林実 (十文字学園女子大学准教授) 編
ISBN 978-4-86110-219-6 ★ ¥6476

永井荷風 ソライズムの射程―初期作品をめぐって 林信蔵 (京都大学非常勤講師)
ISBN 978-4-86110-222-6 ★ ¥3619

名刀中条スバハバン!!! 中条省平 (学習院大学教授)
ISBN 4-921146-90-X ¥2800

アントニオ・タフッキ 反復の詩学 花本知子 (京都外国語大学准教授)
ISBN 978-4-86110-358-2 ¥3000

Beowulf 橋本修一 (千葉工業大学教授)
ISBN 4-86110-060-7 ★ ¥2000

カズオ・イシグロ―「日本」と「イギリス」の間から 莊中孝之 (京都外国語短期大学准教授)
ISBN 978-4-86110-255-4 ¥3000

乱読すれど乱心せず―ヤスケンがえらぶ名作50選 安原顕 (スーパージェッター)
ISBN 4-921146-67-5 ★ ¥1800

「ペーオルフ」とその周辺―忍足欣四郎先生追悼論文集 唐澤一友 (駒澤大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-190-8 ★ ¥8000

古代歌謡と南島歌謡―歌の源泉を求めて 谷川健一 (民俗学者)
ISBN 4-86110-058-5 ★ ¥2400

なぜ男は筆野糞子を養えるのか 海老原暁子 (元立教女学院短期大学教授)
ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381

樋口一葉―物語論・言語行爲論・ジェンダー 笹川洋子 (神戸親和女子大学教授)
ISBN 978-4-86110-348-3 ¥4000

ほくの交遊録 岡井隆 (歌人)
ISBN 4-86110-044-5 ★ ¥2800

自著を語る

石垣千秋

『医療制度改革の比較政治』

一九九〇～二〇〇〇年代の日・米・英における診療ガイドライン政策



文学部を卒業してシンクタンクに就職。ITについて調査をしていましたが、仕事を続けているうち、このままでいいのかと考え、1999年に休職してイギリスのバース大学へ留学しました。当時イギリスではEBM (Evidenced-based medicine) という新しい医療の仕組みが大きな話題となっており、このテーマを選んで修士論文を書きました。帰国後は復職し、医療や福祉分野の調査に取り組む一方で、研究会などへも参加しつつありました。大学院へ入り直したことをきっかけに研究の道を選択しましたが、一度企業で働いていたからこその人脈を活かした研究ができたと思います。

私たちは病気になれば病院に行ったり、薬を使ったりします。医療は私たち皆に関係あるものなのに、とりわけ日本の医療制度はあまりに複雑で、ほとんどの人はそれがどんなのか把握していません。何か疑問を持ってどう声を上げたいかわからないし、医師ではない人が政策に関わることも難しい。どうしてこれほど複雑になってしまったのだろう、一般の人たちが医療に関わっていくためにはどうしたらよいのだろうと考え、医療政策をめぐる力関係について研究してきました。

イギリスには「医療」を専門とする社会科学の研究者が多くいます。しかし日本では、このような領域の研究は「病院マネジメント」や「公衆衛生」など、医学の一分野として医師が行うことがほとんどです。私自身も、医療制度の研究をしていると自己紹介すると「看護師なの？」と訊かれることがあります。政治学や経済学などの社会科学の蓄積が、医療制度、そして私たちの健康や暮らしにもたらすものは大きいはずですが。この本が、社会科学から医療への幅広いアプローチが広まるひとつのきっかけになればと願っています。

今春から山梨県立大学に着任しました。卒業後には福祉などの現場で働くことになる学生たちに何を伝えることができるのか。頭を悩ませています。(10頁に本の紹介)

AUTHOR

インタビュ―現代短歌―うた・ひと往来

及川隆彦(『短歌往来』編集長) ISBN 4-86110-066-6 ★ ¥2857

ラフカディオ・ハーンとジェイムズ・トムソン 『四季』をめぐる 先川暢郎(元拓殖大学教授) ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333

新版文学にひそむ十字架

小出龍太郎(大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800

小出龍重と谷崎潤一郎―小説『夢喰ふ虫』の真相 小出龍太郎・明里千章・荒川朋子 ISBN 4-86110-084-4 ★ ¥2500

小出龍重―光の憂鬱

小出龍太郎(大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 4-921146-34-9 ¥2200

ちよつと、教養―20代女性のための芸術案内 小出龍太郎(大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 4-86110-008-9 ¥1600

民話の森の歩きかた

樋口淳(専修大学教授) ISBN 978-4-86110-273-8 ★ ¥2381

文学

テクストの思考―日本近現代文学を讀む

林浩平(詩人・恵泉女学園大学特任教授) ISBN 978-4-86110-253-0 ¥3048

ヘンリー・フィールディング伝 澤田孝史(東京国際大学教授) ISBN 978-4-86110-231-8 ★ ¥4286

オーウェル文学の源流を求めて―その想像的創造力の源泉 高橋鍾(宮崎大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-170-0 ★ ¥2800

Essays on Dickens, Forster, Austen: A Japanese Reader's Appreciation 藤田永祐(獨協大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-388-9 ★ ¥3000

ディケンズ、フォースター、オースティン―いまに生きるイギリス小説 藤田永祐(獨協大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-154-0 ¥2200

平家物語―装置としての古典 高木信(相模女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-139-7 ★ ¥4600

英詩に魅せられ―エリオットからライキンまで 堀田三郎・大飼誠 共編 ISBN 978-4-86110-305-6 ¥2476

Decoding Paul Muldoon: Poetics and Politics

奥田良一(東海大学教授) ISBN 978-4-86110-176-2 ★ ¥2500

荒野へ―鮎川信夫と「新領土」 中井農(同志社大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-096-3 ★ ¥3333

こんにはチェホフ―二つの短編を訪ねる 村手義治(元創価大学教授) 編訳 ISBN 978-4-86110-279-0 ¥2000

龍の星霜―異端の劇作家青江舜一郎 大嶋拓(映画作家) ISBN 978-4-86110-274-5 ¥1500

法隆寺 青江舜一郎(劇作家) ISBN 978-4-86110-225-7 ★ ¥2800

鷗外・漱石―フレイカリズムの起源 大石直記(明治大学教授) ISBN 978-4-86110-175-5 ★ ¥5600

見えないものを見る力―ケルトの妖精の贈り物 風呂本武敏(元愛知学院大学教授) ISBN 978-4-86110-094-9 ★ ¥2190

画文集旅の貼り絵

安田彰(元亜細亜大学教授)

旅や趣味や遊びに興じれば、今までは違う世界で新しい自分に出会う。日本の名所や風習、世界各国の人々とくらしを「生きた文化」として見つけ出したエッセイに、詩情あふれる切り絵を添える。

菊判上製・三四頁 定価(1750円+税) ISBN 978-4-86110-546-3



バルザック王国の裏庭から

『リュジェリーの秘密』と他の作品集

宇多直久(元滋賀大学講師) 編訳

バルザックの歴史小説『リュジェリーの秘密』の新訳と、この小説に至る私信、小品、断片等を執筆順に収録。作家にしてリアリスト・バルザックの人物像をあぶりだす。巻末に当時のパリ街路事典、歴史的登場人物の紹介文を併載。四六判上製・二九二頁 定価(2500円+税) ISBN 978-4-86110-544-9

八月の瓜―母へ 彭学明著／立松昇一(拓殖大学教授)・舟山優士(翻訳家) 訳

中国少数民族・土家族の作家による自伝的小説。文化大革命、大飢饉・過酷な生活の中で四度結婚し、子どもたちを育てた母の愛と執念。本邦初訳! ISBN 978-4-86110-520-3 ¥2500

鎌倉三猫いまふたび

ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) 小町、タマ吉、みなみの目くるめく冒険。「いつか長靴をはいた旅猫になってアビシニアに行くんだ」半径五〇〇メートルの神秘の宇宙。 ISBN 978-4-86110-515-9 ¥1500

スウェーデン民話名作集全4巻

数下絨一(元駒澤大学教授) 訳 人々のさだめと神の救い、魔女や動物たちがおりなす魔法と幻想の世界。(IIは品切重版未定) I ISBN 978-4-86110-246-2 II ISBN 978-4-86110-339-1 III ISBN 978-4-86110-368-1 IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻 ¥1905

クリスマス・キャロル チャールズ・ディケンズ著 井原慶一郎(鹿児島大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-474-9 ¥1500

一人の詩人と二人の画家―D.H.ロレンスとニューメキシコK.メリル著／木村公一・倉田雅美・伊藤芳子 訳 ISBN 978-4-86110-498-5 ¥4100



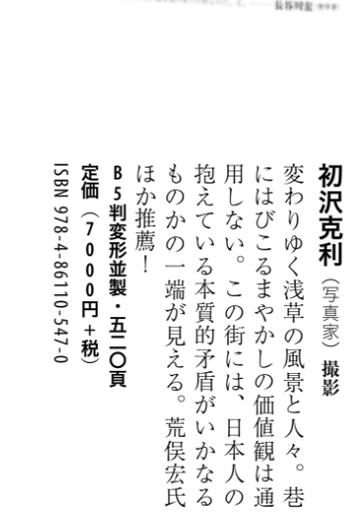
旅の貼り絵 安田彰

いなきも同然だった男 パトリス・ルコント 著／桑原隆行(福岡大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-458-9 二刷 ¥1800

愉しみは最後に パトリス・ルコント、ダヴィッド・デカンヴェイル著／桑原隆行(福岡大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-418-3 ¥1800

エドワード・トマス訳詩集 吉川朗子(神戸市外国語大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-429-9 ¥2000

写真・音楽・芸術 石巻片影 三浦衛(春風社代表) 著 橋本照嵩(写真家) 写真 東日本大震災後の石巻を写す! 写真75点と詩・エッセイ。中条省平氏、長谷川宏氏推薦。A4判変形上製・二〇〇頁 定価(2500円+税) ISBN 978-4-86110-530-2



翻訳ピンチ! 中条省平 SHOHEI CHUJO 19 何が訳者をさうさせたか

今回は、自分の翻訳ではなく、ほかの人がやった翻訳の話です。カナダの映画監督グザヴィエ・ドランの最新作『たかが世界の終わり』の最後に、戦前アメリカの黒人女性歌手、ヴェラ・ハルの「トラブル・ソー・ハード」がかかります。この歌詞の訳に驚いたのです。原詩は単純で、以下の2行をくり返すものです。 Oh Lordy, trouble so hard Don't nobody know my troubles but God 「ああ、なんてひどい苦しみ/神様以外に誰もこの苦しみを判ってくれない」 けれど、映画の字幕は、たかがこの2行を次の3連のポエムに訳しわけているのです。 「果てなく暗い闇/わずかな望みも朽ち果てて/誰にも届かない心の叫び/ただ 神だけが耳を傾ける どうしようもなく深い孤独/抗う力さえ失うほどに/誰にも見えない涙のしずく/ただ 神だけが指先で拭う」 永遠に終わらない夜/絶望の海に取り残されて/誰も知らない傷の痛み/ただ 神だけが手をかざす」

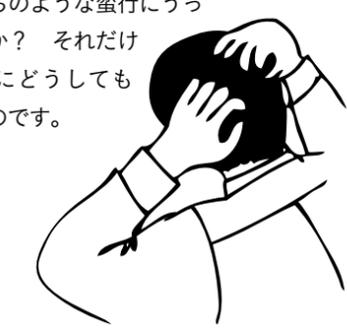
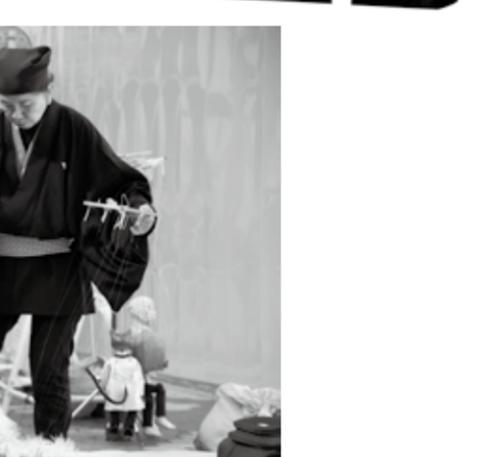


イラスト: たけなみゆうこ

浅草2011-2016 六区ブロードウェイ 日本人の肖像 初沢克利(写真家) 撮影 変わりゆく浅草の風景と人々。巷にはびこるまやかしの価値観は通用しない。この街には、日本人の抱えている本質的矛盾がいかなるものかの一端が見える。荒俣宏氏ほか推薦! B5判変形並製・五二〇頁 定価(7000円+税) ISBN 978-4-86110-547-0



しりあがり寿

大河

18 お家断絶

明日が大切な戦だというのにそこには高揚感はない。
城内は重く沈痛な空気に包まれていた。

「このままではお家は持ちませぬ……」
家老が口を開くと龍虎がそれをさえぎるように言う。
「だからこうして戦をしかけるのではないか!？」

「その戦がどうにも退屈なようで……もう少し意外性というか……」
「退屈じゃと!? 戦は経済の延長だ。計算と合理性が全てじゃ」
「民はもうちょっとそこらへん人情とか家族愛とか一発逆転、
奇跡の再会などなど人間ドラマを期待しているようで……」

「人情や家族愛で戦ができるか!」
戦上手で知られる龍虎が一括すると、一同は押し黙る。

「しかしこのままではお家が絶たれます……」

間をおいておそろおそろ一人が声をあげた。

「今のご時世、民の心が全てでございます」

「ええい! どうすれば良いのじゃ!」龍虎が絞り出すように叫ぶ。

「おそれながら……」先ほどの家老だ。

「民は仇討ちを好みます。特に主君の仇を家来が皆で討つような話が好きでございます」

龍虎がとまどい、やがて事の次第を悟ったかのように言った。

「仇討ちものに変えよ……と」

「御意……」

翌朝龍虎は単独上京すると、將軍家につながる高官をいきなり殿中で切りつけた。

龍虎は切腹、しかし世間では評判の悪かった高官を成敗したと龍虎の人気は上がり、

民の間では家来による仇討ちを期待する空気が高まった。

城内では主な家来が集まり緊張した面
持ちで知らせを待っていた。

廊下を走る音が近づく。

部屋に飛び込んだ家老が喜色満面で皆
に伝える。

「おのおのがた! 視聴率が上がり申した!」

人々の間からは安堵と歓声が沸き起こ
り、打ち切りを免れたことを心より祝
ったのであった。



ヒースの丘から一友、旅、暮らしの歳時記
山口弘恵 (武蔵野大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-186-1 ★ ¥1800

カフェの女主人
レイモン・ジャン 著／桑原隆行 (福岡大学教授) 訳
ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200

横浜の時を旅するーホテルニューグランドの
魔法 山崎洋子 (作家)
ISBN 978-4-86110-296-7 三刷 ¥1600

エルビー・メルゲンとトウの太陽ーモンゴルの
いつたえ集 塩谷茂樹編訳／Ya・パダムハ
ンド・ロム執筆 ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600

モーアートの息子
ジャック・トゥルニエ 著／高井道夫 (元上智
大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-242-4 ★ ¥2200

魔術師のたいい
レーナ・ラウライネン 著／荒牧和子 訳
ISBN 4-86110-075-5 ★ ¥1500

小作人とアサラシ女ースコットランドのいい
つたえ シュディ・ハミルトン 著／先川暢郎・
橋本修一 訳 ISBN 978-4-86110-408-4 ¥1500

パリの小鳥売り
ロベール・ブラジヤック 著／高井道夫 (元上
智大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-250-9 ★ ¥2200

みらいのゆぐさ
しりあがり寿 (漫画家)
ISBN 978-4-86110-294-3 ¥1600

ことばのポトラック
大竹昭子 (作家) 編
ISBN 978-4-86110-310-0 ¥1800

リヴァ・ペラ パトリス・ルコント 著／桑原
隆行 (福岡大学教授) 訳
ISBN 978-4-86110-280-6 ¥1905

マハーヴァキナまたは巫山の夢
三浦衛 (春風社代表)
ISBN 978-4-86110-342-1 ¥1957

クリス・ホルディック選 コミック短編小説集
石塚剛子 (同志社大学教授) 他編訳
ISBN 978-4-86110-298-1 ¥2500

ショートカットの女たち パトリス・ルコン
ト 著／桑原隆行 (福岡大学教授) 訳
ISBN 978-4-86110-277-6 ★ ¥2000

父のふるさとー秋田往来
三浦衛 (春風社代表)
ISBN 978-4-86110-243-1 ¥1905

イギリスの田舎を歩く ビーター・ミルワー
ド 著／橋本修一 (千葉工業大学教授) 訳
ISBN 978-4-86110-311-7 ★ ¥1429

空にあがったハイエナー ケニア・キクユの民話
集 杜由木
ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600

出版は風まかせーおとほけ社長奮闘記
三浦衛 (春風社代表)
ISBN 978-4-86110-193-9 ¥1300

お爺ちゃんとお爺
オタ・フィリップ 著／北岡武司 (岡山大学名誉
教授) 訳 ISBN 978-4-86110-446-6 ¥2500

カレワ物語ーフィンランドの国民叙事詩
キルステイ・マキネン 著／荒牧和子 訳
ISBN 4-86110-034-8 ¥1800

エコマ エコスカ 幕末 ハリ
飯島耕一 (詩人)
ISBN 4-86110-040-2 ★ ¥2800

人生の請求書
石橋幸子 (春風社専務)
ISBN 978-4-86110-410-7 ¥1300

愛の叙事詩 パルタイヤン物語 ミシエル・ゼ
ヴァロ 著／鈴木梯男 (神戸松蔭女子学院大学名誉
教授) 訳 ISBN 978-4-86110-223-3 ★ ¥2800

気がつけばアメリカ人ー二つの祖国に生きて
蒲生靖子
ISBN 978-4-86110-392-6 ★ ¥1500



【新版】北上川 橋本照嵩 (写真家)
立松和平氏 (作家) 推薦! 「近年の収穫と
いえる写真集である」。石巻市出身の (人物
写真家) が、昭和30〜40年代のあるさとの原
風景と人々の暮らしを深い愛情と洞察をもつ
て写し撮る。
ISBN 978-4-86110-441-1 ¥3500

かほぢの下でーウガンダ戦争を生きる子と
もたち 桜木奈央子 (写真家) 写真・文／伊藤
氏貴解説 ISBN 978-4-86110-259-2 ¥1800

表象の京都ー日本映画史における観光都市の
イメージ 須川まり (奈良県立大学特任講師)
細部に宿る京都を凝視する! 映画の中に現
れる「表象」としての京都は戦後どのような
変化を遂げてきたのか。映画と観光の相関史。
ISBN 978-4-86110-537-1 ¥3000

「出会い」という名の劇場ー演劇に生きて
岡田正子 (演出家・翻訳家)
長年フランス演劇の演出・翻訳を手がける著
者が綴る、演技メソッド「ペラ・レーヌ・シ
ステム」の秘訣や、多彩な劇界の人々との交流。
ジャン・ポールアレグルの戯曲も収録。
ISBN 978-4-86110-551-7 ¥2100

増補訂正としての身体ー土方巽・暗黒舞
踏技法のアプローチ 三上賀代 (京都精華大
学教授) ISBN 978-4-86110-465-7 ¥3600

母のアルバム
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)
幼い頃の実家の呉服屋の賑わい、戦中の女学
校時代の勤労動員、実らなかつた恋、結婚生
活の苦勞……。昭和・平成を生きたひとりの
女性の軌跡を写真と文で綴る。
ISBN 978-4-86110-523-4 ¥1800

父のアルバム
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授) 娘の成
長を写真と文で綴る。アルバムに残された家族
の断片は、「昭和の家族」の姿を映し出す。今
より「不便」だが不便とも思わなかつた時代の
ささやかな記録が、大切な何かを伝えてくれる。
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

長唄の世界へようこそー読んで味わう、長唄
入門 細谷朋子 (研究者)
ISBN 978-4-86110-400-8 二刷 ¥3400

映画はやるーパトリス・ルコント、自作を語
る P・ルコント 著／H・プロロシヨ 聞き
手／桑原隆行 訳 ISBN 978-4-86110-433-6 ¥3800

クニラ解体
小関与四郎 (写真家)
ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000

映画はやるーパトリス・ルコント、自作を語
る P・ルコント 著／H・プロロシヨ 聞き
手／桑原隆行 訳 ISBN 978-4-86110-433-6 ¥3800

フェルナン・レジェ オブジェと色彩のユートピ
アー キュニスムからフランス人民戦線まで
山本友紀 ISBN 978-4-86110-405-3 ¥4500

赤いレトロな焙煎機ー遙かなる南米大陸をめ
きして 玉川裕子 (ブラジル民族文化研究センター
研究員) ISBN 978-4-86110-495-4 ¥1500

詩集 輪郭のない自画像
木端美人
ISBN 978-4-86110-457-2 ¥2300

テテムシ 新美南吉詩歌集
石川勝治 (長崎県立大学名誉教授・斎藤卓志 (民
俗学者) 編 ISBN 978-4-86110-406-0 ¥1800

詩集 輪郭のない自画像
木端美人
ISBN 978-4-86110-457-2 ¥2300

谷川健一全歌集
谷川健一 (民俗学者・歌人)
ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800

風の想いー奈津
松永澄夫 (立正大学教授)
ISBN 978-4-86110-378-0 ★ ¥1500

選遊
岩田澄江
ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952

詩集 獲のプラン
らんのぼね
ISBN 978-4-86110-270-7 ★ ¥1300

山桜花
廣利千恵子
ISBN 4-86110-077-1 ★ ¥1429

邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録
松菱多津男 (芸芸会会長)
ISBN 978-4-86110-276-9 ¥1600

OTHER VOICES 東大全共闘・68ー70
平沢豊 (編集者)
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

詩歌・俳句

カメレオン
三浦衛 (春風社代表)
ISBN 978-4-86110-473-2 ¥2200

谷川健一全歌集
谷川健一 (民俗学者・歌人)
ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800

山桜花
廣利千恵子
ISBN 4-86110-077-1 ★ ¥1429

観光・環境 自然・健康

突撃！よこはま村の100人―自転車記者
が行く 佐藤将人(神奈川県新聞記者)
ISBN 978-4-86110-316-2 ¥1500

瀬戸内、鳥獣の旅―風景の奥を読む
伊藤松雄(四国学院大学教授)
ISBN 978-4-86110-360-5 ¥1800

観光地の興味期限―「暮らしと観光」の文化
論 古池嘉和(富山大学教授)
ISBN 978-4-86110-120-5 ¥1800

おばさんへトナム留学記
中嶋弘子
ISBN 978-4-86110-297-4 ¥1500

おばあちゃん！豚と木に登る
外川洋子
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

農の6次産業化と地域振興 熊倉功夫(静岡
文化芸術大学元学長)監 米屋武文(元静岡文化芸
術大学教授)編 ISBN 978-4-86110-437-4 ¥2750

富士山学への招待―NPOが富士山と地域を
救う 渡辺豊博(元都留文科大学教授)
ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500

失敗しないNPO―グラウンドワーク三島の
20年とイギリスに学ぶ 渡辺豊博(元都留文
科大学教授)編著 ISBN 978-4-86110-333-7 ¥1500

三島のジャンボさん―ミスターグラウンド
ワーク 渡辺豊博(元都留文科大学教授)
ISBN 978-4-86110-233-2 ¥1429

世界遺産の自然と暮らし
今井一郎(関西学院大学教授)
ISBN 4-921146-98-5 ¥1905

英和の森の植物たち―感じる、遊ぶ、食へる
中池敏之・川崎末美(東洋英和女学院大学教授)
ISBN 978-4-86110-321-6 ¥2600

コバタンの繁殖―絶滅危惧種保存への挑戦
石川文也(日本鳥学会会員) ISBN 978-4-86110-
195-3 ¥2800

背骨ゆらゆら健康法―自分でできるお手軽気
功術 朱剛(鍼灸師)
ISBN 978-4-86110-127-4 ¥1200

立教大学人文叢書

石碑、直筆原稿、楽譜、絵画、写真、書簡な
ど、あらゆる媒体をテキストとしながら、さ
まざまな人間精神の多彩な動きを考究する横
断的人文学の試み。全五巻！

1 人文資料学の現在―
浦野聡他 編著
ISBN 4-86110-063-1 ¥2200

2 文学の基礎レッスン
後藤和彦 編著
ISBN 4-86110-087-9 ¥2200

3 肖像と個性
藤巻明他 編著
ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200

4 人文資料学の現在 II
菅谷憲典 編
ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2200

5 書簡を読む
桑瀬章二郎 編
ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

古代文学史料の中心性と周縁性
立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津
行徳・浦野聡 編著
ISBN 4-86110-067-4 ¥3500

横浜市立大学新叢書

資料を見て考えるホロコーストの歴史
ヴァンゼー会議記念館 編著／山根徹也・清水
雅大訳 ISBN 978-4-86110-461-9 ¥2000

韓国の財政と地方財政
鞠重篤(横浜市立大学教授)
ISBN 978-4-86110-460-2 ¥3000

レリギオ―《宗教》の起源と変容
三上真司(横浜市立大学教授)
ISBN 978-4-86110-452-7 ¥3000

日中間戦争と中国人文学者―郁達夫、柯靈、
陸蠡らをもめぐって 鈴木正夫(横浜市立大学名譽
教授) ISBN 978-4-86110-411-4 ¥3500

天狼俳句の英訳―誓子・敏雄・綾子
古平隆(横浜市立大学名譽教授)
ISBN 978-4-86110-384-1 ¥3000

過去の再演を越えて―精神的分析的ロール・フ
レーンク 川崎政道(横浜市立大学名譽教授)
ISBN 978-4-86110-374-2 ¥3000

読んで愉しむイギリス文学史入門
白井義昭(横浜市立大学名譽教授、立正大学教授)
ISBN 978-4-86110-372-8 二刷 ¥1500

普仏戦争―籠城のバリ132日
松井道昭(横浜市立大学名譽教授)
ISBN 978-4-86110-373-5 ¥3000

EU統合を読む―現代ヨーロッパを理解する
ための基礎
小久保康之(東洋英和女学院大学教授) 編著
EUはどのように発展してきたのか。歴史、
経済から各国の最新事情まで、難民・テロ問
題を考えるうえで必読の一冊！
ISBN 978-4-86110-483-1 ¥2500

ネット空間を変えるモバイル社会
東洋英和女学院大学メディア・コミュニケー
ション研究所編 震災時における携帯電話の
役割、ツイッターを活用した選挙運動など、
モバイルインターネットの普及がもたらす新
時代の諸相を明らかにする。
ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500

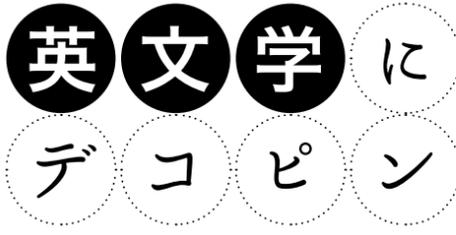
グローバル化とリスク社会
岡本浩一(東洋英和女学院大学教授) バトリシア・
スウィッセル(東洋英和女学院大学教授) 編
医療、食品、サイバー犯罪、外交など、国境
を越えて拡散する多様なリスクにどう立ち向
かうべきかを示す九編の論考。
ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

東洋英和女学院大学 社会科学叢書



新時代のやさしいトラウマ治療―NLP、マ
インドフルネス・トレーニング、EFT、E
MDR、動作法への招待 岡本浩一・角藤
比呂志 編 最新の臨床心理学の成果をもと
に、PTSDに対するトラウマ治療の手法
を、誰でも模倣できる形で提示・実演。
ISBN 978-4-86110-545-6 ¥2500

阿部公彦



6 E・M・フォースター『ハワーズ・エンド』のアラ探し

『ハワーズ・エンド』はE・M・フォ
ースターの作品の中でも人気が高いもの
だが、小説としての完成度に疑問符をつ
ける人もある。よく耳にするのは、コメ
ディなかりアリズム小説なのかわから
ない、中途半端だ、との指摘。つまり、
作品にいささか統一感が欠けるというの
だ。たしかに冒頭部はコメディタッチの
どたばたが中心で、会話も喜劇風味が満
点だが、その後、いきなり重要人物が死
んでしまったりして雲行きがかわる。あ
げくに殺人事件まで起きる。
そういえば、この小説ではよっぽと
語り手が現れて「そういえばさあ」と急
にツッコミを入れてきたりもする。たと
えば主人公のマーガレットが、夫のヘン
リーの過去の女性関係を知ったときのこ
と。マーガレットは簡単にはヘンリーを
見捨てず、むしろ情愛をもってやさしく
接する。すると、語り手が―頼んでも
いないのに―しゃしゃり出て来て「こ
ういう流れは変だと思いませんか？ いや
いや、そういうものですよ」などと講釈
をはじめ。「だって男と女は違うので
すよ。男は相手がかかりするとすぐ見
捨てるけど、女は相手がだめなほど、萌

えるもの」などと。
こういうツッコミは、自分の小説の不
統一やアラをごまかそうとする「言い訳」
とも見えるものだが、読んでみるとまさ
にここが楽しい。絶妙のタイミング。ス
マートな表現。シャープな毒。作家の書
きぶりが一番冴えているのはツッコミ部
分なのだ。補修作業めいた語り手の介入
を読むためにこそ、私たちは『ハワー
ズ・エンド』という作品を読むのではな
いかとさえ思える。
もちろん、「ツッコミ」は「ツッコミ」
だからおもしろい。演説になってしまっ
たら興ざめだ。責任のないコメントだか
らこそ、ぴりっとこちらの注意をひく。
こういう「旨味」はじっくり味わおうとす
るとすると逃げてしまうものだ。少な
くとも『ハワーズ・エンド』の語り手は、
統一感なんて忘れたように振る舞ってい
るときが一番生き生きとしている―た
とえそれが登場人物の「生き生き」と引
き替えたとしても。考えてみれば、フォ
ースターが登場人物を唐突に死なせるの
はこの作品に限ったことではないのであ
る。
(英文学者)

総記・辞典・事典

コミュニティ事典

伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・
似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・
日高昭夫・吉原直樹 編
コミュニティの過去・現在・未来―いま、
なぜ、コミュニティなのか？ 千年に一
度の大災害といわれた3・11以後、いま最
も必要とされている事典！！
一五の大項目内に総四一七項目、執筆者
二八四名による専門知・実践知の集大成。
A5判上製・二七〇頁 定価(25000円+税)
ISBN 978-4-86110-538-8

フランス語名詞・ 動詞連語辞典

石川三千夫(桜美林大学教授)
フランス留学、出張、滞在に必携！ 見出し
語五四〇〇・約三〇〇〇に及ぶ連語は政治・
経済・医学・歴史・料理・音楽・スポーツな
ど広範な分野をカバー。
仏語学習、仏語での会話・文章作成・仕事に
大変便利な辞典。
四八判並製・六五四頁 定価(3500円+税)
ISBN 978-4-86110-536-4



【主要目次】

総論 1	コミュニティの思想と歴史
総論 2	国家・地方制度のなかのコミュニティ
総論 3	近代日本社会とコミュニティ
総論 4	ボランティア、NPO、NGOとコミュニティ
総論 5	グローバル化とネット・コミュニティ
総論 6	変容するエスニック・コミュニティ
各論 7	まちづくりとコミュニティ
各論 8	社会計画・社会開発とコミュニティ
各論 9	福祉とコミュニティ
各論 10	安全・安心とコミュニティ
各論 11	災害・復興とコミュニティ
各論 12	アジアのコミュニティ
各論 13	欧米のコミュニティ
各論 14	コミュニティ・プランニングの対象と方法
各論 15	コミュニティ・スタディーズの対象と方法

異文化コミュニケーション事典
石井敏・久米昭元 編集代表
ISBN 978-4-86110-333-9 ¥7600

日本語のホライトネス再考―発話行為・発話媒介行為・相互行為
 笹川洋子 (神戸親和女子大学教授) ¥3700
 ISBN 978-4-86110-447-3

ジョンソンと「国語」辞典の誕生―十八世紀巨人の名言・金言 早川勇 (元愛知大学教授) ¥2500
 ISBN 978-4-86110-399-5

啓蒙思想下のジョンソン辞書―知の集成を指して 早川勇 (愛知大学名誉教授) ¥5000
 ISBN 978-4-86110-380-3

英単語のいさご 早川勇 (愛知大学名誉教授) ¥1800
 ISBN 978-4-86110-217-2

英語と開発―グローバル化時代の言語政策と教育 F・サージェント、E・J・アーリン グ編、松原好次 (元電気通信大学教授) 監訳 英語教育の普及が、貧困からの脱却や識字率向上に寄与している反面、格差の拡大や多様性の排除などをもたらす実態を多角的に考察。 ISBN 978-4-86110-471-8 二刷 ¥3500
 ISBN 978-4-86110-470-1 ¥1800

英語の名詞をきわめる―可算名詞と不可算名詞の使い分け 小林悦雄 (立教大学教授) ¥2000
 ISBN 978-4-86110-283-7

英語のルーツ 唐澤一友 (駒澤大学教授) ¥2000
 ISBN 978-4-86110-283-7

英語の母語話者のための日本語教育―ベトナム人の日本語学習における困難点改善のための提案 松田真希子 (金沢大学准教授) ¥1800
 ISBN 978-4-86110-361-2

ベトナム語母語話者が日本語の文法/語彙/コミュニケーションを学ぶ際、最も効果的な日本語習得方法をデザインする。 ISBN 978-4-86110-491-6 ¥2600

英語教育の精神と実践―コミュニケーションから英米文学まで 岡田善明 (日本大学講師) ¥1800
 ISBN 978-4-86110-361-2

ビジネスドイツ語―レター&Eメールの書き方と例文 石居龍一 (コンサルタント) ¥1905
 ISBN 978-4-86110-377-3

英語教育の実践―日本人のための英語学習論 小谷悠紀子 (東京電機大学名誉教授) ¥3800
 ISBN 978-4-86110-364-3

フェイス相互作用理論―日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークをとらえる 横溝環 ISBN 978-4-86110-286-8 ¥4667

Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition 伊庭緑 (甲南大学教授) ¥4600
 ISBN 978-4-86110-235-6

Languages and Language Policies In Insular Southeast Asia 河原俊昭 (元京都光華女子大学教授) ¥5950
 ISBN 4-921146-64-0

はじめての論文―語用論的な視点で調査・研究する 田中典子 (清泉女子大学教授) ¥1800
 ISBN 4-86110-349-0

The Pragmatics of Uncertainty 田中典子 (清泉女子大学教授) ¥3333
 ISBN 4-921146-22-5

プラグマティクス・ワークショップ―身のまわりの言葉を用論的に見る 田中典子 (清泉女子大学教授) ¥1800
 ISBN 4-86110-073-9

L'interaction Exolingue: Analyse de Phenomenes Metalinguistiques 石川文也 (立教大学教授) ¥8476
 ISBN 4-921146-59-4

「俗語」から「国家語」へ―スペイン黄金世紀の言語思想 岡本信照 (京都外国語大学教授) ¥3333
 ISBN 978-4-86110-291-2

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II 鈴木憲夫 ¥6667
 ISBN 978-4-86110-300-1

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis 鈴木憲夫 ¥7619
 ISBN 978-4-86110-114-4

第一言語学習と個性性 津田塾大学言語文化研究所言語学習の個性性研究グループ編 ISBN 978-4-86110-065-9 ¥1600

英語平―現代英語をより深く知るために 菊池清明 (立教大学教授) 編 ¥1400
 ISBN 978-4-86110-513-5

ヘルベル語とティフィナグ文字の基礎―タリー・フィート語入門 石原忠佳 (創価大学教授) ¥4286
 ISBN 978-4-86110-394-0

別売CD有

自由と尊厳を超えて B・F・スキナー 著 / 山形浩生 訳 行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえした名著、待望の新訳！ ISBN 978-4-86110-341-4 一刷 ¥2381

デイクアの心理学 浮田徹嗣 (横浜市立大学准教授) ¥3000
 ISBN 978-4-86110-306-3

環境心理学―環境デザインへのハイスペクティブ 榎究 (実践女子大学教授) ¥2286
 ISBN 4-86110-010-0 二版 二刷

ロール・プレイング―即興劇による人間の探求と治療 川幡政道 (横浜市立大学名誉教授) ¥2381
 ISBN 978-4-86110-155-7

見捨てられる不安―家族と社会の現在 川幡政道 (横浜市立大学名誉教授) ¥2200
 ISBN 978-4-86110-158-8

魂のかけら―ある物理学者の神秘体験 佐川邦夫 ¥1800
 ISBN 978-4-86110-095-6

YOKOHAMA

真正の学び／学力 フレッド・M・ニューマン 著 / 渡部竜也 (東京学芸大学准教授) 訳 ¥2381
 ISBN 978-4-86110-525-8

掘田諭 (東京成徳大学講師) 訳

ブラジル雑学事典 田所清克 (京都外国語大学名誉教授) ¥5000
 ISBN 978-4-86110-496-1

ニュージールランド百科事典 ニュージールランド学友会編 ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333

現代日本語モンゴル語辞典 橋本勝 (大阪大学名誉教授) / E・ブレブジャフ 編 ISBN 4-921146-33-0 ¥15000

教育実践の昭和 横須賀薫 (十文字学園女子大学学長) 国分一太郎、斎藤喜博、東井義雄、昭和教育史に名を残す三人の「教育実践家」のキャリアの源泉を探る。三者固有の領域と共通点を丹念に追いつけ未来へと繋ぐ渾身の論考。 ISBN 978-4-86110-512-8 ¥2000

絵本から「子ども福祉」を考える 青木文美 (愛知淑徳大学准教授) 編 現代の子どもはどんな環境におかれ、どんな問題をかかえているのか。絵本の世界から10のテーマを切り口に「子ども福祉」の視点を身につける、類例のない解説書。 ISBN 978-4-86110-514-2 ¥2400

現代の学校を読み解く―学校の現在地と教育の未来 末松裕基 (東京学芸大学講師) 編著 学校の社会的意義が揺らぎつつある現代。若き教育者たちが、教育現場の最前線から教育の未来を描く視点を提示する。 ISBN 978-4-86110-504-3 ¥2300

日本統治下台湾の教育認識―書房・公学校を中心に 呉宏明 (元京都精華大学教授) ¥3500
 ISBN 978-4-86110-505-0

世界初市民性教育の国家規模カリキュラム 渡部竜也 (東京学芸大学准教授) 編訳 ISBN 978-4-86110-490-9 ¥4722

ダンテ神曲原典読解語源辞典(地獄)／煉獄)／天国) 福島治 ISBN 4-921146-77-2 ★ / 4-921146-78-0 ★ / 4-921146-79-9 ★ 各巻 ¥46000

スウェーデン語源辞典 太田強正 (神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-332-2 ★ ¥2000

人生の調律師たち 動的ドラマトウルギーの展開 藤川信夫 (大阪大学教授) 編著 身体障害、差別、非行などの人生の困難な場面で人はいかに支援しあうのか？ 社会学者E・ゴッフマンの演劇理論をもとに、豊富な事例分析から「支援者・被支援者」の相互行為を読み解く。教育と福祉をつなぐ人間学的論議。 A5判上製・四五四頁 定価(4500円十税) ISBN 978-4-86110-540-1

人生の調律師たち 藤川信夫 (大阪大学教授) 編著 人生の困難な場面で人はいかに支援しあうのか？ 社会学者E・ゴッフマンの演劇理論をもとに、豊富な事例分析から「支援者・被支援者」の相互行為を読み解く。教育と福祉をつなぐ人間学的論議。 A5判上製・四五四頁 定価(4500円十税) ISBN 978-4-86110-540-1

現代の学校を読み解く―学校の現在地と教育の未来 末松裕基 (東京学芸大学講師) 編著 学校の社会的意義が揺らぎつつある現代。若き教育者たちが、教育現場の最前線から教育の未来を描く視点を提示する。 ISBN 978-4-86110-504-3 ¥2300

日本統治下台湾の教育認識―書房・公学校を中心に 呉宏明 (元京都精華大学教授) ¥3500
 ISBN 978-4-86110-505-0

世界初市民性教育の国家規模カリキュラム 渡部竜也 (東京学芸大学准教授) 編訳 ISBN 978-4-86110-490-9 ¥4722

スパイスの香り

Kikuya Curry 〒 231-0064 横浜市中区野毛町4丁目173 TEL 045-231-0806



横浜市立中央図書館の向かいにおいしいカレーの香りがただよっている。

店主の吉井さんは元町生まれで、ずっと横浜に暮らしている。この場所で、もともとは母親が旅館を営んでいた。吉井さん自身も一時ホテルを営んでいたが、建物の改築をきっかけにアパートと自宅とし、1階を店舗とした。

カレー屋を始めたのは、なによりカレーが好きだから。吉井さん自身もいろいろな店を食べ歩いている。自分の店の最大のルーツは石川町の「美松」、そして御茶ノ水の「エチオピア」が憧れのカレーだと語る。この店を始めてからも食べ歩きを欠かさず、いいカレーに出会うと影響されてメニューが増えていく。

独特のカレーと言われることもあるが、ベースは「洋食屋さんのカレー」。店内にずらりと並ぶスパイスを調合したカレーパウダーからカレーソースを作り、注文時に具材と合わせる。ソースは「スリランカ風」「和風南蛮」「バターマサラ」の三種類がメインで、女性には特に「バターマサラ」が人気。いずれも最後にガラムマサラを加えて出す。具材は豚バラやローストチキンなどそれぞれカレーに合うよう工夫しているが、断然おすすめなのはハンバーグとビーフだという。

席につき、注文するとまず出てくるのはポテトサラダ。好みでペッパーを挽いてかける。しばらくして、別々の皿に盛り付けられたカレーとライスが出てくる。カレーをライスにかけるのではなく、ソースをスプーンで口に運んでから、ライスを食べるのが理想の食べ方。「こちらからこう食べるということではできませんが、意図を汲んでくださるお客さんは食べ終わったお皿がきれいです」

17席の店内。目立たない立地だが、毎日お昼ときには満席で、店の前で待つ人もいます。インターネット上の口コミを見て来てくれるお客さんも多い。「カレーは食べないとわからない。そして、1度だけではわからない。何度も足を運んでほしい」

コモン・グッドのための歴史教育 リンダ・S・レヴステイク／キース・C・バートン 著／渡部竜也他 訳 ISBN 978-4-86110-445-9 ￥6000

教師のゲートキーピング―主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けて S・J・ソートン 著／渡部他 訳 ISBN 978-4-86110-328-5 ￥2857

変革的知識人としての教師―批判的教授法の学びに向けて ヘンリー・A・シラー 著／渡部竜也 訳 ISBN 978-4-86110-375-9 ￥3333

キリスト教人格教育論―個人の尊厳を見つめて 吉岡良昌 (元東洋英和女学院大学教授) ISBN 978-4-86110-417-6 ￥2300

いのちを育む教育学 吉岡良昌 (元東洋英和女学院大学教授)・大川洋 (国際基督教大学上級准教授) ISBN 978-4-86110-143-4 ￥2200

アメリカ教育福祉社会史序説―ビティンク・ティーチャーとその時代 倉石一郎 (京都大学教授) ISBN 978-4-86110-416-9 ￥3000

物語が始まるとき―共創教育の現場から 青木幸子 (昭和女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-415-2 ￥1800

ワークシートで学ぶ 生徒指導・進路指導の理論と方法 林尚示・服部伴文・村木晃 ISBN 978-4-86110-355-1 ￥2000

「ネイティブ」と呼ばれる日本語教師―海外で教える母語話者日本語教師の資質を問う 平畑奈美 ISBN 978-4-86110-390-2 ￥3500

日中教育学対話―II 三 芳凱声／山崎高哉 共編 ISBN 978-4-86110-159-5 ￥3200 / ISBN 978-4-86110-220-2 ￥2800 / ISBN 978-4-86110-248-6 ￥3200

私はどのような教育実践をめざすのか―言語教育とアイデンティティ 細川英雄・鄭京姫 編 ISBN 978-4-86110-379-7 ￥2800

体当たり校長の学校づくり―8年間のヒールズレーサー 横山芳春 (豊見城市立座安小学校校長) ISBN 978-4-86110-340-7 ￥3381

子どもの心にこたく授業―三重県桑名市立藤が丘小学校における六年 伊藤新司 編著 ISBN 978-4-86110-326-1 ￥2381

海峡を越えて―京畿高等女子学校の思い出 太田孝子 (岐阜大学教授) ISBN 978-4-86110-157-1 ￥2200

母の愛が奇跡を生む―発達遅れの遅れに挑むワーキング・ホックス学習法 立川勲 編 ISBN 978-4-86110-098-7 ￥1500

戦前 感化・教護実践史 佐々木光郎・藤原正範 編著 ISBN 4-921146-18-7 ￥4800

昭和戦前期の少年教護実践史(上・下) 佐々木光郎 上 ISBN 978-4-86110-330-8 ★ 下 ISBN 978-4-86110-331-5 ★ 各巻 ￥3500

増補「いじり」の非行―家裁の非行臨床から 佐々木光郎 (元静岡英和学院大学教授) ISBN 4-921146-91-8 ￥1800

新編 生涯学習と地域社会教育 末本誠 (神戸大学大学院教授)／松田武雄 (名古屋大学大学院教授) 編 ISBN 978-4-86110-234-9 ￥2476

学びを開くNIE―新聞を使ってどう教えるか 影山清四郎 (横浜国立大学名誉教授) 編著 ISBN 4-86110-080-1 ★ ￥2381

実感から関係化へ―ある重度重複障害者と関わり 遠藤司 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-237-0 ★ ￥2381

政治・経済

医療制度改革の比較政治―一九九〇、二〇〇〇年代の日・米・英における診療ガイドライン政策 石垣千秋 (山梨県立大学准教授) 医療の質を保ちつつ、医療費を抑制する。医療制度改革という技術的な専門性が高く、不確実性が高い分野の政治は、どう展開するのか。 ISBN 978-4-86110-534-0 ￥5400

日中比較産業史―取引慣行と制度に見る戦前期日中経済の特質 四方田雅史 (静岡文化芸術大学准教授) ISBN 978-4-86110-486-2 ￥3700

アメリカの対日通貨政策の形成―1971―2003年の日米通貨交渉を事例として 増永真 ISBN 978-4-86110-359-9 ￥2700

フランス帝国主義と中国―第一次世界大戦前の中国におけるフランスの外交・金融・商工業 篠永官孝 ISBN 978-4-86110-136-6 ★ ￥5714

世界金融危機日中の対話―円・人民元・アジア通貨金融協力 上川孝夫・李曉 編 ISBN 978-4-86110-203-5 ￥3500

生命の経済学―生物学による経済学再構築 富森茂児 (北海道大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-161-8 ￥2381

「新自由主義」をぶっ壊す 青木育志 (研究者) ISBN 978-4-86110-226-4 ★ ￥1600

社会・歴史

新版 学問の暴力 植木哲也 (苫小牧駒澤大学教授) 知はいかにして権力性と暴力性を帯びるのか。江戸末期に犯罪として裁かれたアイヌ墓地発掘は明治期、「学術調査」の名の下に公認されるようになる。二〇〇八年の旧版に二〇一六年までの新たな経緯を補記。 四六判上製・三三三頁 定価(2400円+税) ISBN 978-4-86110-531-9

幼児キャンプ―雪の体験 山梨幼児野外教育研究会 監修 ISBN 4-921146-40-3 ★ ￥1905

先生、いのちのことを教えて―引き揚げから養護教諭へ 引地ユリ ISBN 978-4-86110-269-1 ★ ￥952

新版 学問の暴力 植木哲也 (苫小牧駒澤大学教授) 知はいかにして権力性と暴力性を帯びるのか。江戸末期に犯罪として裁かれたアイヌ墓地発掘は明治期、「学術調査」の名の下に公認されるようになる。二〇〇八年の旧版に二〇一六年までの新たな経緯を補記。 四六判上製・三三三頁 定価(2400円+税) ISBN 978-4-86110-531-9

と 積尊 ミットフォード イギリス人外交官の見た明治日本 藤末と明治に訪れたイギリス人外交官が日本で目撃したもの。 ISBN 978-4-86110-524-1

ポストモダンの処方箋

19 アクティブラーニングはアクティブか? 白井聡

「アクティブラーニング」という言葉が近年頻繁に見聞きするようになった。その定義は、2012年の中央教育審議会答申によると、「伝統的な教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称」というものであり、具体的には、ディベート、ディスカッション、学修者による報告・発表といったものを指す。これを文科省はあらゆる教育機関に導入しようと目論んでいるのである。

この定義には、従来の講義形式は「一方的」で「パッシブ」であるという断定が含まれている。なるほど、教室で受講者が何か発言していれば「能動的」で、黙っていれば「受動的」であるとはわかりやすい定義であり、お役所式単細胞にふさわしい発想である。だが、考えてもみよ。90分間集中して人の話を聞き続けるという行為は、大変に骨の折れるものだ。まさにそこに「能動性」がなければ、決してできるものではない。

日本の大学は、ドイツ式を範として始まったために、講義形式が主流となった。そこに弊がないとは言わない。そして、

学生の受動性は、今日の大学教員のほとんど誰もが日々直面している問題である。しかし、それに対する解が、見かけ上の「能動性」の実現であるはずがない。

他方、全国大学生活協同組合連合会が毎年行なっている調査において、昨年、一日の読書時間がゼロ、つまり全く本を読まない学生の割合が5割を超えた。もう見るのも嫌になるような悲惨な数字である。この数字は、昨今の学生の経済的苦境だけで説明できるものではない。能動的に知的発展を遂げようとする意欲の喪失が、ここに現れている。

アクティブラーニングなるものが能動性を引き出そうとする試みであることは、認められよう。しかしながら、現状を前提とするならば、それは、受け身の学習者を取り囲み、手を変え品を変えて起ち上がってくれるよう懇願することにはほかならない。「これはいかがですか? ダメですか? じゃあこれは?」と。能動性が獲得されるプロセスは、まさに受動的である。アクティブラーニングは、見かけ上の成功を取れば取めるほど、泥沼を深くするに違いない。

(政治学者)

〈フォーク〉からの転回 文化批判と領域史

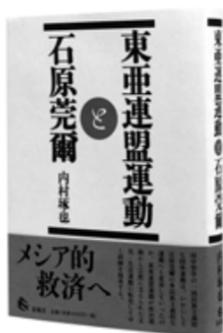
小長谷英代 (早稲田大学教授)

アメリカにおいて「フォーク」はどのように見出され位置づけられてきたか。民俗学・文化人類学・美学・美術史学などが果たした役割は? 「ヴァンキュラー」「アート」などどうのキーワードからみる文化研究の思想史。 四六判上製・三三三頁 定価(4300円+税) ISBN 978-4-86110-535-7

都市近隣組織の発展過程

日米比較論 大内田鶴子 (江戸川大学教授)

日本は江戸時代の五人組から敗戦後の町内会解体までの流れに、アメリカはネイバールフッド・システムの実態に焦点を当て、両国を多角的に比較。コミュニティと民主主義の在り方を明らかにする。 A5判上製・四〇頁 定価(5000円+税) ISBN 978-4-86110-527-2



東亜連盟運動と石原莞爾
内村琢也(研究者)

一国民主義的な運動がいかにかして多民族主義的な運動へと変容したのか。東亜連盟運動が政治運動から宗教に支えられた文化・生活運動に転化した経緯を明らかにする。

ISBN 978-4-86110-522-7 ¥5000



素猫・杉原千畝
小谷野裕子(エッセイスト)

平和への願い、祈りと希望——杉原千畝の生まれ育った場所、暮らしたさまざまな国の風景や人々を訪れ、丹念に集めた新たな知見をもとに人柄を描き出す。

ISBN 978-4-86110-528-9 ¥1800

天馬山——北朝鮮からの引揚げ者の語り
浅井重紀子(桜美林大学教授) 編著

一九四五年八月三日、ソ連軍の侵攻により、家族自決を決意した父。しかし、息子は「生きたい」と言った。北朝鮮・清津中学校の元生徒たちが苦難の引揚げ体験を語る。

ISBN 978-4-86110-519-7 ¥2200

インド・イスラーム王朝の物語とその建築物
——テリ・スルターン朝からムガル帝国までの五〇〇年の歴史をたどる

宮原辰夫(文芸学教授)

一次史料をもとに、インドに多数残るイスラーム建築をめぐる知的ガイドブック。

ISBN 978-4-86110-509-8 ¥2700

「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男——日本近代スポーツの父・岸清一物語
古城庸夫(江戸川大学准教授) 昭和初期、スポーツの普及と平和に半生を捧げた男が追い続けた「東京オリンピック開催」という壮大な夢。その偉業の、知られざる軌跡をたどる。

ISBN 978-4-86110-484-8 ¥2000

歴史教科書とナショナリズム——日本とドイツ
原口健治(青山学院大学教授)

ドイツの歴史教科書におけるナチズムを厳しく追及する記述は「自虐的」だろうか。歴史教科書問題の背景にある、国家・国民像とアイデンティティのあり方を考える。

ISBN 978-4-86110-506-7 ¥2700

宝は田から——あわせの農村民俗誌 山形県米沢 佐野賢治(神奈川大学教授)

ISBN 978-4-86110-507-4 ¥3300

先生、NPOって儲かりますか？——若者たちが地元で賢く生きる方法 渡辺豊博(元都留文科大学教授)

ISBN 978-4-86110-480-0 ¥1389

今、田村明を讀む——田村明著作選集 鈴木伸治(横浜市立大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-508-1 ¥2000

ケニアへかけた虹の橋——30年の国際ボランティア活動 NPO法人「少年ケニアの友」 編

ISBN 978-4-86110-485-5 ¥1833

北の商都「小樽」の近代——ある都市の伝記 内藤辰美(山形大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-450-3 ¥3900

米国の沖縄占領と情報政策——軍事主義の矛盾とカモフラージュ 吉本秀子(山口県立大学教授)

ISBN 978-4-86110-451-0 ¥6500

ホストセリングを知っていますか？——日本の子ども向けテレビCMの実態 山下玲子、藤井達也

ISBN 978-4-86110-435-0 ¥3000

変容するテレビニュースとキャスターの役割 深澤弘樹(駒澤大学准教授)

ISBN 978-4-86110-432-9 ¥3400

婚姻連帯論と社会学——レヴィ・ストロース、デュルケムをめぐって 門口充徳(成蹊大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-423-7 ¥4900

ペリーと黒船祭——日米文化外交史 佐伯千鶴(北アラバマ大学准教授)

ISBN 978-4-86110-425-1 ¥2200

雛の誕生——雛節供に込められた対の豊穡 皆川美恵子(十文字学園女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-439-8 ¥3800

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナツペイ 著/藤野成爾 訳

ISBN 978-4-86110-413-8 二刷 ¥1800

地域と越境——「共生」の社会経済史 内田日出海・谷澤毅・松村岳志 編

ISBN 978-4-86110-407-7 ¥3300

多文化組織の日本人リーダー像——ライフストーリー・インタビューからのアプローチ 石黒武人

ISBN 978-4-86110-322-3 ¥3000

不思議フランス 魅惑の謎 藤野敦子(京都産業大学教授)

ISBN 978-4-86110-401-5 一刷 ¥1800

台湾——メディア・政治・アイデンティティ 本多周爾(武蔵野学院大学大学院教授)

ISBN 978-4-86110-216-5 ¥2381

前川教授の人生、血液型。——血液型が信じられる34の理由 前川輝光(亜細亜大学教授)

ISBN 978-4-86110-396-4 ¥1500

保守のヒント 中島岳志(東京工業大学教授)

ISBN 978-4-86110-227-1 ¥1800

変容する冷戦後の世界——ヨーロッパのリベラル・デモクラシー 永松雄彦・萬田悦生 編

ISBN 978-4-86110-224-0 ¥2381

空間のエスノグラフィ——文化を横断する 川床靖子(大東文化大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-367-4 ¥2700

学習のエスノグラフィ——タンザニア、ネパール、日本の仕事場と学校をフィールドワークする 川床靖子

ISBN 978-4-86110-113-7 ¥2381

「敵国語」ジャーナリズム——日米開戦とアメリカの日本語新聞 水野剛也(東洋大学教授)

ISBN 978-4-86110-258-5 ¥5200

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム——リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦 水野剛也

ISBN 4-86110-038-0 ¥4600

中心と周縁——タイ、天草、シカゴ 佐久間美穂(川村学園女子大学講師)・内藤辰美(山形大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-369-8 ¥3500

1920年代の日本と国際関係——混沌を越えて「新しい秩序」へ 杉田米行(大阪大学教授)

ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500

ネットワーク社会と空間のポリテクニクス——都市・モダニティ・グローバル化 大澤善信

ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

頭山満と近代日本 大川周明 著/中島岳志 編・解説

ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200

ブラジルの都市問題——貧困と格差を越えて 住田育法(京都外国語大学教授) 監修

ISBN 978-4-86110-173-1 ¥3619

フランス革命を旅したイギリス人——リクビー博士の書簡より E・リクビー 著/川分圭子 訳

ISBN 978-4-86110-171-7 ¥2381

貧困をどのように捉えるか——H・ガンスの貧困論 西村貴直(関東学院大学准教授)

ISBN 978-4-86110-343-8 ¥3333

イングランドの地名——起源と歴史を訪ねて K・キヤメロン 著/吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) 訳

ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286

ラルテ・ヴェトラリア——17世紀初頭のガラス製造術 アントニオ・ネリ 著/日本ガラス工業学会 編

ISBN 978-4-86110-131-1 ¥5000

表象のヴェネツィア——詩と美と悪魔 鳥越輝昭(神奈川大学教授)

ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800

イランとイスラーム——文化と伝統を知る 森茂男(元大阪大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-215-8 ¥2381

旅する対話——ディアスポラ・戦争・再生 姜信子(作家)・ザラ・イマーエワ(映像作家)

ISBN 978-4-86110-350-6 ¥1800

現在と性をめぐる——つの試論——言語・社会・文学からのアプローチ 小玉亮子(お茶の水女子大学教授) 編著

ISBN 978-4-86110-117-5 ¥1800

太平洋問題調査会「1925-1961」とその時代 山岡道男(早稲田大学教授) 編著

ISBN 978-4-86110-211-0 ¥4600

サステイナブルな社会を目指して 木村武史(筑波大学准教授) 編著

ISBN 978-4-86110-141-0 ¥2381

ガラスの文明史 黒川高明(元日本ガラス工業学会理事)

ISBN 978-4-86110-172-4 ¥4762

移行期ロシアの繊維産業——ソビエト軽工業の崩壊と再編 藤原克美(大阪大学准教授)

ISBN 978-4-86110-317-9 ¥4000

インターネット文化の諸相——グローバル化を生き抜く知的戦略 若林一平(元文芸大学教授)

ISBN 978-4-86110-267-7 ¥3333

マスメディア論——現場と社説と地方紙と 大西正行(十文字学園女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-228-8 ¥1800

グローバル化と市民権、都市——ヘクシスの社会学 岩永真治(明治学院大学教授)

ISBN 978-4-86110-140-3 ¥3333

国際社会学の実践——国家・移民・NGO—— シャルビネス 三橋利光(東洋英和女学院大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-263-9 ¥2381

国際社会学の挑戦——個人と地球社会をつなぐために 三橋利光(東洋英和女学院大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-142-7 ¥2381

ヒトから人へ——一人前への民俗学 佐野賢治(神奈川大学教授)

ISBN 978-4-86110-281-3 ¥2381

物権法概説 小泉健(ノースアジア大学学長)

ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

僕の解放前後——一九四〇—一九四九 柳宗鎬 著/白燦 訳/太田孝子 日本語校閲

ISBN 978-4-86110-164-9 ¥2800

かの冬、そして秋——僕の朝鮮戦争 柳宗鎬 著/白燦 訳/太田孝子 日本語校閲

ISBN 978-4-86110-256-1 ¥2800

世間師——宮本常一の仕事 斎藤卓志(民俗学者)

ISBN 978-4-86110-156-4 ¥2200

保生大帝——台北大龍峒保安宮の世界 尾崎保子(元昭和女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-105-2 ¥2800

牡牛と信号——「物語」としてのネパール 山本真弓/序・佐々木幹郎(詩人)

ISBN 4-921146-60-8 ¥2200

本屋に行こう

高橋書店 〒231-0861 横浜市中区元町 2-85
TEL 045-664-7371 <http://www.motomachi.or.jp/shop/> 高橋書店



横浜元町のカレイドスコープ

創業106年目の老舗。元町ショッピングストリートほぼ中央に位置し、アーケードの“BOOKS”の看板と、きれいな緑色の壁が目印だ。正面の階段を2階に上がるとそこが入口。店長歴30年の鈴木ハマ子さんにお話を伺った。

初代の高橋七九郎さんが、今の店にほど近い代官坂に店を構えたのは明治44年。店中央には創業時の店舗の写真が飾られ、当時の風景を偲ばせる。そのころの元町は、山手に暮らす外国人が関内の仕事場に向かう通り道になっていた。そんな外国人に洋書や輸入文房具を販売していたが、大正12年に関東大震災が発生、店舗が焼失してしまう。その後、七九郎さんの甥で、鈴木ハマ子さんの祖父でもある鈴木虎吉さんが、洋書だけでなく和書も取り扱うようにして書店を再建。震災のため避難した人たちが、様変わりした街に戻ってきたときにも分かりやすいようにと、店名は「高橋書店」のままにしたそうだ。

現在のレイアウトは、入り口の正面にまず洋書の棚がある。『JAPANESE TRADITIONS』『JAPANESE CELEBRATIONS』といったおすすめの子どもの向け英文の日本紹介書、夏目漱石や村上春樹の英訳本、日本語と英語が併記されたバイリンガル絵本や語学書など、子どもから上級者向けまで、豊かな品揃えだ。隣の“ART”の棚には、折り紙や浮世絵の塗り絵など、日本文化を体験できる洋書も並ぶ。

レジの横、扇子やかるたを見ながら店内を進むと、横浜にちなんだ情報誌や、料理誌、ファッション誌、その奥にはエッセイ、文芸書、科学読み物、文庫や新書まで、洋書以外の書籍が並ぶ。どれもお客さまとの関わりの中で培われた経験と知識で丁寧に選ばれた本だ。今はもう失われてしまった横浜の風景を収めた写真集など、この港町の歴史に関する本も充実している。

横浜元町から古今東西を見わたすことのできる、カレイドスコープのような書店だ。

BOOKSTORE

人類学



文化遺産はだれのものか

トルコ・アナトリア諸文明の遺物をめぐる所有と保護

田中英資 (福岡女学院大学准教授)

様々な時代の遺跡が重層的に残り、文化遺産の盗掘や返還の問題を抱えたトルコ。政府・研究者・報道・コレクター・国際機関等、過去の痕跡をめぐり国内外の主張から、「文化遺産」という概念を問い直す。A5判上製・三〇〇頁 定価(3700円+税) ISBN 978-4-86110-3548-7



建築人類学

読む・描く・造る

牧野冬生 (駒沢女子大学特任准教授)

居住空間を、住民によって読まれるべき身体化された「テクスト」と捉え、建築行為を全体を民族誌として読み解く。フィリピンの不法占拠地域の調査で試みる、建築学と人類学の融合！ A5判上製・三〇〇頁 定価(4000円+税) ISBN 978-4-86110-539-5

貧困と連帯の人類学

ブラジルの路上市場における一方的贈与

奥田若菜 (神戸外国語大学准教授)

首都ブラジリアの衛星都市、セイランジャで働く路上商人たちは、警察の取締りから逃れながら、働き者であることを誇り、困っている人に手を差し伸べる——路上商人たちの「正しさの規範」と「善さの規範」から、階層を越えた連帯の作法を探る。四六判上製・三五六頁 定価(3700円+税) ISBN 978-4-86110-532-6



インカ帝国の成立—先スペイン期アンデスの社会動態と構造

渡部森哉 (南山大学教授)

ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

増殖するシャーマン—モンゴル・ブヤートのシャーマニズムとエスニシティ 島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-299-8 ¥7500

The Roots Seekers: Shamanism and Ethnicity among the Mongol Buryats 島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-397-1 ¥6667

エコトリスムの民族誌—北タイ山地民カレンの生活世界 須永和博 (獨協大学准教授) ISBN 978-4-86110-327-8 ¥4600

ダワー・タンザニア、反乱と治療をもたらす謎の概念 岩崎明子 (文化人類学者) ISBN 978-4-86110-389-6 ¥3333

ナショナリズムと宗教—現代インドのビンドゥー・ナショナリズム運動 中島岳志 (東京工業大学准教授) ISBN 4-86110-048-8 ¥3619

癒しと呪いの人類学 (第二版) 板垣明美 (横浜国立大学准教授) ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

ウエトナム—変化する医療と儀礼 板垣明美 (横浜国立大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

シリーズ 来たるべき人類学 (全五巻)



1/セックスの人類学

奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二編 イルカやサル性の生活から、セックス儀礼、SM、性転換、ペニスピンまで、フィールドワークを通じて動物と人間の性に肉薄。その多様性に驚き、あきれ、考え込む。 ISBN 978-4-86110-180-9 ¥1905

2/経済からの脱出

織田竜也・深田淳太郎編 われわれは何に囚われているのか? 「危機」から経済の彼方へ。生命、市場、時間、貨幣、感情、宗教、贈与、古代、環境、プリコラージュ。新たな知が、危機のなから姿を現す。 ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381

3/宗教の人類学

吉田匡興・石井美保・花湖馨也編 「理解」がたいのに、わたしたちに影のように寄り添っている—宗教を解きほぐす。改宗、顕示的消費、憑依、呪物、アニミズムなどをフィールドから得た知見をもとに論じる。 ISBN 978-4-86110-247-9 ¥1905

4/アジアの人類学

片岡樹・シンジルト・山田仁史編 アジアの捉え方、フィールドワーク論から始まり、「焼畑」「牧畜」「狩猟採集」「漁撈」「モノ」「親族」「ネットワーク」「ヨーロッパの中のアジア」など、人類学の視点でアジアを捉える。 ISBN 978-4-86110-357-5 二刷 ¥2381

5/人と動物の人類学

奥野克巳・山口未花子・近藤秋編 こんなに深く広い、人と動物の関係! ヘラジカと話す男、ゴリラに「なる」人間、狩猟者に身を捧げたウサギ…ペットや家畜としてだけでなく、多様な人と動物の関係を探る。 ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381

刊行予定 (タイトルは仮)

▼随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功▼新版 大地の哲学 小野寺功▼仏教偏頗の研究 岩松浅夫▼よく生きるための死生観 岩崎大▼教えることの哲学 小澤喬司▼カントの伝 菅澤龍文、中澤武山根雄▼カントの人間思想 菅澤龍文▼古代ギリシアの死生観 木原志乃▼法華経経義(下) 河瀬幸夫▼哲学の断章 北岡崇▼ブルー・マルクスの庭園の美学 荒井芳廣▼キルケゴールを読む 河上正秀▼翻訳と倫理 静岡大学翻訳研究会▼新井奥蔵選集 コールタニエル▼鈴木大拙の「日本の霊性」 那須理香▼フィネガンズ・ウェイク フィールド 手塚裕子▼フィネガンズ・ウェイク 奥田良二▼Contemporary Irish Plays 佐竹晶子▼ポール・ボウルズ論 外山健二▼「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子▼左伝の女たち 尾崎保子▼荒野へII 中井辰▼文学という名の愉楽 寒河江光徳▼アグリマスに魅せられて 大月和彦▼深田晋一▼ペーオルフ 吉見昭徳▼イギリス文学における都市と身体 武田美保子▼中央ヨーロッパ 歴史と文学 桂元嗣▼文学とアダプテーション 小川公代、吉村和明、村田真一▼H.G.ウェルズ試論 宗洋▼T.S. Eliot 山口敦子▼D.H.ロレンスと雌牛スーザン 木村公一▼倉田雅美 小林みどり▼拡大するジョイスの世界 田村章▼ブルースト、鐘の音が響くカフェで 田村奈保子▼松本清張の葉脈 南富鎮▼アレゴリーで読むアメリカ 武田悠一▼ジョー・オートン 矢島直子▼緑みち 吉住小三▼茶苑 堀江洋子▼グロテスク美のイメージ 武末祐子▼横浜の若き表現者たち 細見葉介▼暮らした日本語(スペイン語版) 長谷川哲子▼暗記のためのロジカル英語入門 佐藤美弥子▼留学生の見た漢字の世界 林さと子、関麻由美▼視覚スキーマを用いた意味拡張機づけの分析 栗田奈美▼ウェルズ語の歴史 小池剛史▼フランス人なら誰でも使うお気に入り フレーズ 久松健一▼自律のための教育学 大川洋一▼雑刀と学校教育 井上アヤ子▼野の学校 佐々木光郎▼障害の重い人たちの事例研究集 遠藤司▼子どもの(内面)とは何か 杉田浩崇▼グローバル時代の人間形成 獨協大学編▼遠藤の他者と教育 橋本憲幸▼ハンナ・アレント 教育のリーディング 橋本憲幸▼生澤繁樹、橋本憲幸▼健康自然塾 川村協平▼「二ノ多」の人間観・世界観に基づいたスピリチュアルケア 小西達也▼歴史的思考力 渡部竜也▼アメリカ人の生活とカリキュラム 渡部竜也▼アメリカ教育福祉社会史序説II 倉石一郎▼現代中東政治学 末近浩太▼中国興業銀行の崩壊とその再建 篠永宣孝▼アメリカの戦争 堀真理子他▼社会学的システム理論の軌跡 赤堀三郎▼エッセイ風都市社会学 古瀬雄一▼イラン人とは誰のことか 八尾師誠 坂梨祥、斎藤正道▼戦後小樽の軌跡 内藤辰美、佐久間美穂▼社会学批判と現代 内藤辰美▼韓国の地方民家 佐々木史郎▼都市の遺産とまちづくり 鈴木伸治編▼コーポレート・ステークホルダー 豊田聡▼スイスの謎 加藤幸治▼再編される東アジアの秩序 岩下哲典他▼グロリア 美▼ミドルクラス 木下誠他▼親子とは何か 梅津綾子▼インド、剥き出しの世界 田中雅一編▼ドイツの難民支援から学ぶ 松原好次他▼カンボジア 牧野冬生他▼パプアニューギニアの華人 市川哲▼アフリカ研究と文化人類学 関谷雄一▼生老病死の人類学 浮ヶ谷幸代▼巫者と生きる日常 村上晶▼メキシコ地方都市の移民 住居 牧野冬生他▼都市の寺廟 福浦厚子▼レバノンにおける相互行為の人類学 池田昭光▼カナドスの乱 住江淳司▼英国聖公会宣教協会の日本伝道と函館アイヌ学校 田辺陽子 (横浜国立大学新叢書)▼英語教育 佐藤響子▼世界のミュージカル・日本のミュージカル 岩崎徹 (東洋英和女学院大学社会科学部研究叢書)▼アジアの国際関係 福田保編▼世界のメディア 小寺敦之編

春風接人

人文系の研究、研究者に対しての風あたりの強くなっている。対して軍事に資する研究、研究者に対しては追い風。このタイミングで画期的なドキュメンタリー映画がつくられ、間もなく封切られる。大嶋拓監督の『鎌倉アカデミア 青の時代』(新宿ケイズシネマにて五月二十日)がそれだ。一九四六年五月に、自由な大学を標榜し、光明寺を学舎に鎌倉大の学校の名で始まった、文字通りの寺子屋大学。その後、旧海軍燃料廠跡に移転し、名前も鎌倉アカデミアと改称したが、財政的に継続が困難となり已むなく廃校に至った。わずかに四年半に満たない短い期間だったが、自由な大学の名に恥じぬ、きわめて志の高い学び舎であった。二代目校長にして後の横浜市立大学学長となった三枝博音(さいしやひろと)は自分の頭で考える人間「づくり」を鎌倉アカデミアの根本精神に置いた。大学は、その後の人生を生きる糧を得る場所であり、それは就職に必要なあれこれの身に着けるということもあるが、それを超え、または、それを貫く魂の世話を言う場所でもあるはずだ。鎌倉アカデミアは、まさにそういう場所であったといえる。学ぶ者と教える者が同じ地平に立ち、教える者は、教えることを通じて学んでいった。映画とあわせ、学問、学術書の未来に思いを馳せたい。(三)

春風新聞 第二〇号 二〇一七年五月九日発行 発行者:三浦衛 発行所:春風社 印刷:シナノ書籍印刷 レイアウト:矢萩多聞

The Agricultural Mongols ホルジギン・ブレンサン (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-543-2 ¥6000

「共感」へのアプローチ—文化人類学の第一歩 渥美一弥 (自治医科大学教授) ISBN 978-4-86110-497-8 ¥2000

霊媒のいる街—北タイ、チェンマイの宗教復興 福浦一男 (桐蔭横浜大学准教授) ISBN 978-4-86110-489-3 ¥4000

「紛争」の比較民族誌—グローバル化におけるオセアニアの暴力・民族対立・政治的混沌 丹羽典生編著 ISBN 978-4-86110-482-4 ¥3700

つなぐの民族誌—中国摩梭人の母系社会における「共生」への模索 金繩初美 (西南学院大学教授) ISBN 978-4-86110-487-9 ¥5000

実践と感情—開発人類学の新展開 関根久雄 (筑波大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-469-5 ¥3500

現代アジアの宗教—社会主義を経た地域を読む 藤本透子 (国立民族学博物館准教授) 編 ISBN 978-4-86110-453-4 ¥4200

途上と目的地—スペイン・サントリアゴ 徒歩巡礼路 旅の民族誌 土井清美 ISBN 978-4-86110-466-4 ¥4000

聖なる鉄琴スロベニアの民族誌—バリ島トウガナン・ブクリンガン村の生活、信仰、音楽 野澤暁子 ISBN 978-4-86110-440-4 ¥4700

ショー・パフォーマンスが立ち上がる—現代アフリカの若者たちがむすぶ社会関係 大門碧 ISBN 978-4-86110-449-7 ¥4500

誰が差別を仕えるのか—エチオピアに生きるカファ・マンジエの関係誌 吉田早悠里 (名古屋大学特任助教) ISBN 978-4-86110-402-2 ¥4900

ハワイ人とキリスト教—文化の混濁とアイデンティティの再創造 井上昭洋 (天理大学教授) ISBN 978-4-86110-426-8 ¥2700

ヘラジカの贈り物—北方狩猟民カスカと動物の自然誌 山口未花子 (岐阜大学教授) ISBN 978-4-86110-383-4 ¥3200

Social Development, Culture, and Participation 阪本公美子 (宇都宮大学准教授) ISBN 978-4-86110-174-8 ¥6476

Doniño provincial en el Imperio inca 渡部森哉 (南山大学教授) ISBN 978-4-86110-431-2 ¥4630

Estructura en los Andes Antiguos 渡部森哉 (南山大学教授) ISBN 978-4-86110-371-1 ¥5714

インカ帝国の成立—先スペイン期アンデスの社会動態と構造 渡部森哉 (南山大学教授) ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

増殖するシャーマン—モンゴル・ブヤートのシャーマニズムとエスニシティ 島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-299-8 ¥7500

The Roots Seekers: Shamanism and Ethnicity among the Mongol Buryats 島村一平 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-397-1 ¥6667

エコトリスムの民族誌—北タイ山地民カレンの生活世界 須永和博 (獨協大学准教授) ISBN 978-4-86110-327-8 ¥4600

ダワー・タンザニア、反乱と治療をもたらす謎の概念 岩崎明子 (文化人類学者) ISBN 978-4-86110-389-6 ¥3333

ナショナリズムと宗教—現代インドのビンドゥー・ナショナリズム運動 中島岳志 (東京工業大学准教授) ISBN 4-86110-048-8 ¥3619

癒しと呪いの人類学 (第二版) 板垣明美 (横浜国立大学准教授) ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

ウエトナム—変化する医療と儀礼 板垣明美 (横浜国立大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

経済からの脱出 織田竜也・深田淳太郎編 われわれは何に囚われているのか? 「危機」から経済の彼方へ。生命、市場、時間、貨幣、感情、宗教、贈与、古代、環境、プリコラージュ。新たな知が、危機のなから姿を現す。 ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381

宗教の人類学 吉田匡興・石井美保・花湖馨也編 「理解」がたいのに、わたしたちに影のように寄り添っている—宗教を解きほぐす。改宗、顕示的消費、憑依、呪物、アニミズムなどをフィールドから得た知見をもとに論じる。 ISBN 978-4-86110-247-9 ¥1905

アジアの人類学 片岡樹・シンジルト・山田仁史編 アジアの捉え方、フィールドワーク論から始まり、「焼畑」「牧畜」「狩猟採集」「漁撈」「モノ」「親族」「ネットワーク」「ヨーロッパの中のアジア」など、人類学の視点でアジアを捉える。 ISBN 978-4-86110-357-5 二刷 ¥2381

人と動物の人類学 奥野克巳・山口未花子・近藤秋編 こんなに深く広い、人と動物の関係! ヘラジカと話す男、ゴリラに「なる」人間、狩猟者に身を捧げたウサギ…ペットや家畜としてだけでなく、多様な人と動物の関係を探る。 ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381